

令和 8 年度 第 1 回 小金井市地下水保全会議

日 時：令和 8 年 7 月 1 0 日（金）午前 9 時 3 0 分から

場 所：市役所第二庁舎 8 階 8 0 1 会議室

次 第

1 開会

2 事務局紹介

3 議題

- (1) 武蔵小金井駅北口駅前東地区第一種市街地再開発事業について（資料 1）
- (2) 令和 8 年度以降の市独自井戸水等水質検査の概要について（資料 2）

4 報告事項

- (1) 東京都実施の令和 7 年度地下水概況調査結果等について
- (2) 令和 7 年度水質監視測定及び湧水・地下水位調査結果について（資料 3・4）
- (3) 環境講座「小金井の地下水を学ぶ」について（資料 5）

5 次回会議の日程について

<配布資料>（資料 1・2 は委員のみ閲覧資料）

資料 1 武蔵小金井駅北口駅前東地区第一種市街地再開発事業について

資料 2 令和 8 年度以降の井戸水等水質検査について

資料 3 令和 7 年度水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託～水質監視測定
及び湧水調査 報告書

資料 4 令和 7 年度水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託～地下水位調査
報告書

資料 5 環境講座「小金井の地下水を学ぶ」告知チラシ

水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託
水質監視測定及び湧水調査

報 告 書

令和 7 年度版

小金井市

目次

1. 調査概要

1-1. 調 査 件 名	1
1-2. 調 査 目 的	1
1-3. 調 査 地 点	1
1-4. 調査実施日	3
1-5. 調 査 項 目	3

2. 調査結果

2-1. 井戸水調査	6
2-2. 野 川 調 査	14
2-3. 湧 水 調 査	16

資料編

調査地点位置図	資-1
調査状況写真	資-4
確認された注目種	資-22

1. 調査概要

1-1. 調査件名

水質監視測定及び湧水・地下水位等調査委託

1-2. 調査目的

(1) 井戸水調査

井戸水の有機塩素化合物による汚染状況を監視測定した。

(2) 野川調査

野川の自然環境の状況を把握するため監視測定した。

(3) 湧水調査

湧水の自然環境の状況を把握するため、水質調査及び水生生物を調査した。

1-3. 調査地点

(1) 井戸水調査

調査地点は小金井市内の井戸水 10 地点である。調査地点を表 1-1 及び図 1-1 に示す。

(2) 野川調査

調査地点は市内下流部に当たる柳橋下の 1 地点である。調査地点を表 1-1 及び図 1-1 に示す。

(3) 湧水調査

調査地点は市内の湧水 4 地点である。調査地点を表 1-1 及び図 1-1 に示す。

表-1 調査地点一覧

調査内容	試料名	試料区分	調査地点
井戸水調査	No. 2	井戸水	中町1-15
	No. 3	井戸水	中町2-15
	No. 4	井戸水	梶野町3-12
	No. 5	井戸水	関野町1-11
	No. 6	井戸水	緑町3-13
	No. 7	井戸水	桜町1-2
	No. 8	井戸水	桜町3-6
	No. 9*	井戸水	東町1-41
	No. 10	井戸水	中町2-1
	No. 13	井戸水	貫井南町2-1
野川調査	柳橋下	河川水	東町1-6
湧水調査 (水質及び 水生生物調査)	貫井神社	湧水	貫井南町3-8
	滄浪泉園	湧水	貫井南町3-2
	美術の森緑地	湧水	中町1-11
	中町四丁目公共緑地	湧水	中町4-16

※地下水位測定調査場所（詳細は地下水位測定報告書のとおり）

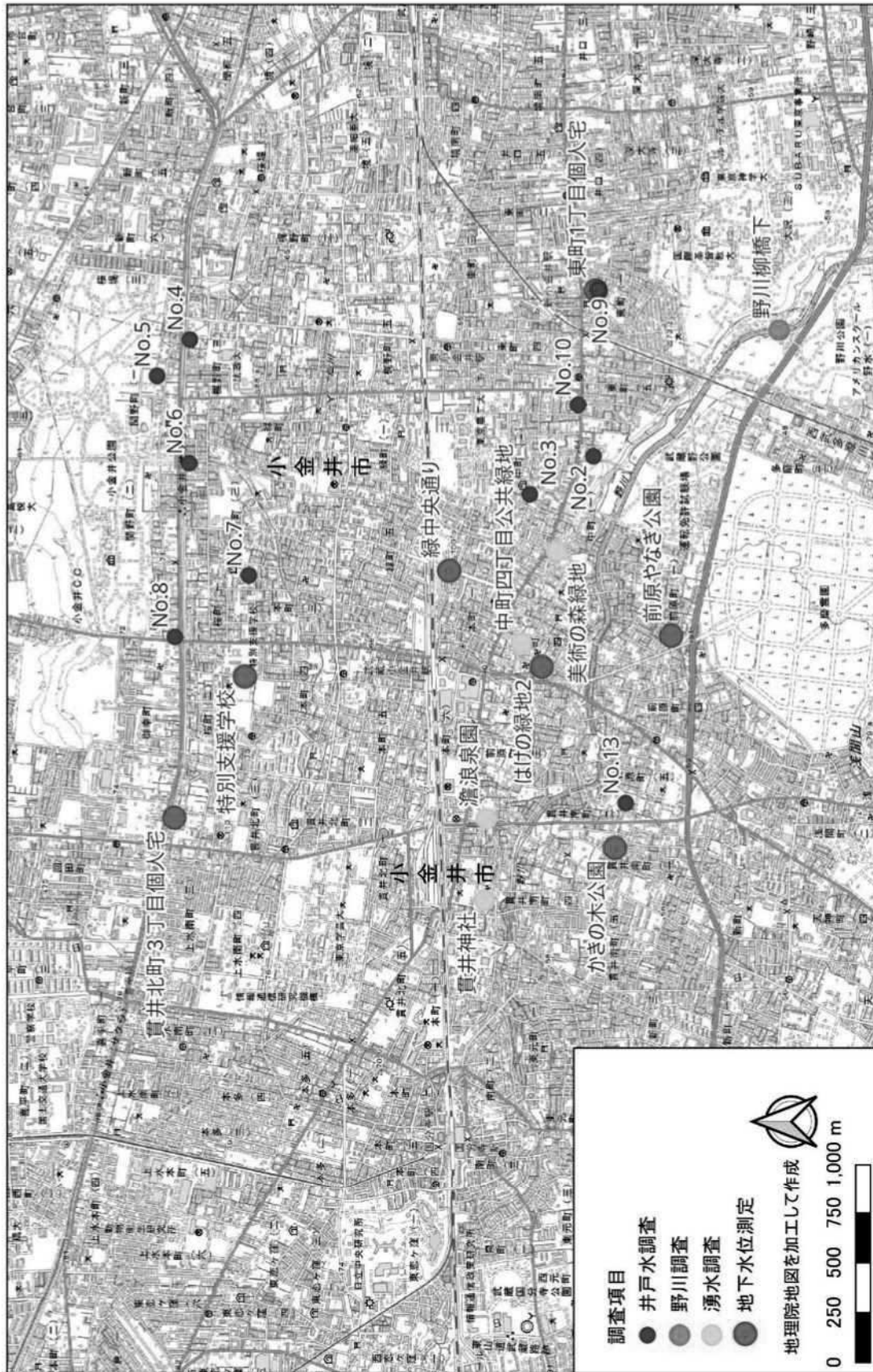


図 1-1 調査地点位置図

1-4. 調査実施日

調査実施日を表 1-2 に示す。

表 1-2 調査実施日一覧

調査内容	調査実施日		調査回数および調査地点数
井戸水調査	第1回目	2025年7月29日	計4回 合計36地点
	第2回目	2025年9月24日	
	第3回目	2025年11月25日	
	第4回目	2026年2月3日	
野川調査	第1回目	2025年6月5日	計2回 合計2地点
	第2回目	2025年11月6日	
湧水調査 ①水質 ②水生生物調査	第1回目	2025年6月23日	計2回 合計8地点
	第2回目	2025年12月15日	

※井戸水調査回数に関して

通常、全 10 地点を 4 回実施の合計 40 地点であるが、湧水及びポンプ故障による欠測が No. 8 で 1 回 No. 9 で 3 回発生したため、合計 36 地点となった。

1-5. 調査・分析項目

(1) 井戸水調査

井戸水調査の調査項目及び分析方法、環境基準を表 1-3 に示す。

表 1-3 水質調査項目、分析方法、環境基準

項 目	単位	分析方法	定量下限値	環境基準値
トリクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	1以下
気温	℃		－	－
水温	℃	JIS K 0102 7.2	－	－
電気伝導率	m s /m	JIS K 0102 13	－	－
硝酸性窒素	mg/L	JIS K 0102 43.2.5	0.01	10以下※
鉛	mg/L	JIS K 0102 54.4	0.001	0.01以下
水位	m	－	－	－

環境基準値：地下水の水質汚濁に係る環境基準について（平成 9 年 3 月 13 日環境庁告示第 10 号）

※基準値は、亜硝酸性窒素との合量値として設定している。

(2) 野川調査

野川調査の調査項目及び分析方法、環境基準を表 1-4 に示す。

表 1-4 水質調査項目、分析方法、基準値一覧表

項目		単位	分析方法	定量下限値	環境基準値
現場測定項目	気温	℃	JIS K 0102 7.1	－	－
	水温	℃	JIS K 0102 7.2	－	－
	外観(色相)	－	JIS K 0102 8	－	－
	臭気	－	JIS K 0102 10.1	－	－
	透視度	度	JIS K 0102 9	－	－
	流量	m ³ /sec	JIS K 0094 8	－	－
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	－	JIS K 0102 12.1	0.1	6.0以上 8.5以下
	溶存酸素量 (DO)	m g /L	JIS K 0102 32.1	0.5	2以上
	生物化学的酸素要求量(BOD)	m g /L	JIS K 0102 21, 32.3	0.5	8以下
	化学的酸素要求量(COD _{Mn})	m g /L	JIS K 0102 17	0.5	－
	浮遊物質 (SS)	m g /L	S46環境庁告示第59号 付表9	1	100以下
	大腸菌数	CFU/100mL	S46環境庁告示第59号 付表10による定量法	－	－
	全窒素 (T-N)	m g /L	JIS K 0102 45.4	0.05	－
	全りん (T-P)	m g /L	JIS K 0102 46.3.1	0.003	－
健康項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (NO ₃ ⁻ -N、NO ₂ ⁻ -N)	m g /L	JIS K 0102 43.2, 43.2.3 JIS K 0102 43.1	0.01	10以下
その他の項目	陰イオン界面活性剤 (MBAS)	m g /L	JIS K 0102 30.1.1	0.02	－
	アンモニア性窒素 (NH ₄ ⁺ -N)	m g /L	JIS K 0102 42.1, 42.2	0.01	－
	りん酸性りん (PO ₄ ³⁻ -N)	m g /L	JIS K 0102 46.1.1	0.003	－

環境基準値：水質汚濁に係る環境基準について(昭和 46 年 12 月 28 日環境庁告示第 59 号)

- 1 人の健康の保護に関する環境基準
- 2 生活環境の保全に関する環境基準

(3) 湧水調査

湧水調査では、①水質調査、②底生生物及び付着藻類調査を行った。

① 水質調査

調査項目及び分析方法、環境基準を表 1-5 に示す。

表 1-5 水質調査項目、分析方法、基準値一覧表

項目	単位	分析方法	定量下限値	環境基準値
気温	℃	JIS K 0102 7.1	－	－
水温	℃	JIS K 0102 7.2	－	－
外観(色相)	－	JIS K 0102 8	－	－
臭気	－	JIS K 0102 10.1	－	－
透視度	度	JIS K 0102 9	－	－
流量	m ³ /sec	JIS K 0094 8	0.001	－
水素イオン濃度(pH)	－	JIS K 0102 12.1	0.1	－
電気伝導率	ms/m	JIS K 0102 13	－	－
硝酸性窒素	mg/L	JIS K 0102 43.2.5	0.01	10以下※
トリクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	1以下

環境基準値：地下水の水質汚濁に係る環境基準について（平成 9 年 3 月 13 日環境庁告示第 10 号）

※基準値は、亜硝酸性窒素との合量値として設定している。

② 水生生物調査

調査項目と採取器具を表 1-6 に示す。

表 1-6 水生生物調査項目、調査方法、採取器具一覧表

項目	調査方法	採取器具
底生生物	コドラート(方形枠)法(25cm×25cm)による採取 4箇所(川幅が狭い為、50cm四方は使用せず) ホルマリン固定 肉眼及び実体顕微鏡による同定、計数、湿重量測定	コドラート Dフレームサーバー ネット
付着藻類	礫を選定、コドラート法(5cm×5cm)による採取 1箇所 ホルマリン固定 沈殿量測定、生物顕微鏡により固定、計数	コドラート ブラシ、洗瓶

2. 調査結果

2-1. 井戸水調査

井戸水の調査結果を表 2-1 に示す。また、検出状況を表 2-2 に、環境基準の適合状況を表 2-3 に示す。

さらに令和 7 年度の平均値を表 2-4、図 2-1 及び図 2-2 に示す。

表 2-1 井戸水調査結果一覧表

No.2 中町1-15		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目		単位	R7.7.29 14:55	R6.7.16 14:30	R5.7.18 15:15	R7.9.24 15:23	R6.9.30 14:50	R5.9.13 14:25	R7.11.25 15:15	R6.11.25 15:50	R5.11.15 14:19	R8.2.3 15:05	R7.2.3 16:31	R6.2.13 14:18	
現場測定項目	天候	-	晴	雨	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	-
	気温	℃	33.3	25.5	35.0	24.0	25.0	34.0	13.0	12.9	15.5	9.5	7.0	15.5	-
	水温	℃	17.8	18.4	18.3	18.6	18.5	18.3	18.5	17.0	17.1	17.2	16.1	16.9	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	-
	pH	-	6.3	7.8	5.9	6.3	6.2	6.3	6.5	6.0	6.2	6.4	6.2	6.2	-
	電気伝導率	mS/m	19.7	15.8	17.4	17.3	18.8	15.2	19.1	16.6	16.9	18.5	18.2	19.9	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0003	0.0002	0.0005	<0.0002	0.0005	0.0005	<0.0002	0.0005	0.0003	0.0002	0.0005	0.0008	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0004	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	6.10	4.18	4.80	1.98	6.09	3.85	1.98	4.77	4.33	1.65	5.43	6.68	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.3 中町2-15		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目		単位	R7.7.29 15:12	R5.7.18 16:05	R4.7.12 14:15	R7.9.24 15:33	R6.9.30 14:56	R5.9.13 14:40	R7.11.25 16:12	R6.11.25 16:00	R5.11.15 14:44	R8.2.3 15:20	R7.2.3 16:50	R6.2.13 14:25	
現場測定項目	天候	-	晴	晴	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	-
	気温	℃	35.6	34.8	26.4	24.0	32.0	33.2	12.5	12.9	15.8	9.5	6.0	15.9	-
	水温	℃	18.5	18.2	22.1	18.3	18.1	18.3	17.0	17.2	16.0	15.8	16.0	15.7	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	-
	pH	-	8.0	7.6	7.8	8.0	7.7	7.5	8.1	7.9	8.1	8.1	8.1	7.4	-
	電気伝導率	mS/m	18.9	18.5	15.2	18.4	19.5	17.0	19.0	18.4	18.2	19.2	18.6	18.8	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	<0.01	0.04	0.15	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	10以下
	鉛	mg/L	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.4 梶野町3-12		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目		単位	R7.7.29 14:28	R6.7.16 12:00	R5.7.18 14:28	R7.9.24 14:28	R6.9.30 13:25	R5.9.13 11:30	R7.11.25 15:14	R6.11.25 14:50	R5.11.15 11:35	R8.2.3 14:10	R7.2.3 14:29	R6.2.13 10:26	
現場測定項目	天候	-	晴	雨	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	-
	気温	℃	35.2	25.5	37.2	25.0	23.5	29.5	11.5	14.5	13.5	10.5	10.1	9.8	-
	水温	℃	19.5	20.1	21.8	18.6	19.4	20.3	16.0	16.5	15.7	14.0	13.0	14.0	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	-
	pH	-	8.0	7.8	7.7	8.0	8.1	8.0	8.1	7.7	8.1	8.1	7.4	7.4	-
	電気伝導率	mS/m	26.3	22.3	24.0	20.7	25.1	21.1	20.5	21.4	22.7	24.8	22.6	23.4	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	4.07	2.86	3.37	2.55	3.47	3.00	2.13	2.68	3.05	3.33	3.17	3.24	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

表 2-1 井戸水調査結果一覧表

No.5 関野町1-11		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目		単位	R7.7.29 14:08	R6.7.16 11:30	R5.7.18 13:25	R7.9.24 14:50	R6.9.30 11:25	R5.9.13 10:30	R7.11.25 14:45	R6.11.25 13:25	R5.11.15 9:55	R8.2.3 13:38	R7.2.3 12:47	R6.2.13 10:12	
現場測定項目	天候	-	晴	雨	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	-
	気温	℃	36.2	24.5	37.5	24.0	22.1	26.5	11.5	12.5	13.2	10.0	9.2	11.0	-
	水温	℃	17.8	18.0	17.9	17.6	18.2	17.9	17.4	17.3	17.8	17.8	17.2	17.2	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	-
	pH	-	6.4	5.9	5.9	6.5	6.1	6.4	6.5	6.1	6.5	6.4	6.0	6.1	-
	電気伝導率	mS/m	21.6	21.6	21.0	20.8	23.4	20.2	21.5	21.7	21.6	21.9	21.5	21.6	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0004	0.0004	0.0006	<0.0002	0.0005	0.0006	0.0003	0.0005	0.0004	0.0004	0.0005	0.0009	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0061	0.0120	0.0160	0.0048	0.0068	0.0130	0.0059	0.0064	0.0071	0.0051	0.0069	0.0110	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0003	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	4.80	4.56	4.32	4.44	5.53	4.76	4.35	5.08	4.65	4.22	5.13	4.64	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.6 緑町3-13		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R7.7.29 13:44	R6.7.16 11:13	R5.7.18 13:45	R7.9.24 13:58	R6.9.30 11:45	R5.9.13 11:10	R7.11.25 14:25	R6.11.25 14:28	R5.11.15 11:00	R8.2.3 11:52	R7.2.3 13:48	
現場測定項目	天候	-	晴	雨	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	-
	気温	℃	37.6	24.1	39.4	24.0	23.5	33.0	12.0	13.5	14.2	10.0	8.8	9.3	-
	水温	℃	18.0	17.3	17.6	18.0	17.5	17.6	17.7	18.0	17.2	17.0	16.4	17.3	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	-
	pH	-	6.8	6.2	6.7	6.8	7.3	6.8	7.3	6.7	7.3	7.6	6.9	7.2	-
	電気伝導率	mS/m	22.8	33.0	33.5	22.3	36.8	31.4	31.6	33.5	34.3	35.9	34.6	21.9	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0005	0.0006	0.0009	<0.0002	0.0006	0.0008	0.0003	0.0006	0.0005	0.0005	0.0006	0.0013	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0027	0.0270	0.0330	0.0017	0.0150	0.0300	0.0110	0.0140	0.0150	0.0110	0.0150	0.0100	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	3.24	5.72	5.52	2.89	6.37	5.88	5.13	6.00	5.90	5.84	6.13	3.57	10以下
	鉛	mg/L	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.7 桜町1-2		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R7.7.29 13:24	R6.7.16 10:15	R5.7.18 11:10	R7.9.24 13:15	R6.9.30 13:00	R5.9.13 10:50	R7.11.25 13:29	R6.11.25 13:55	R5.11.15 10:15	R8.2.3 13:09	R7.2.3 13:15	
現場測定項目	天候	-	晴	雨	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	-
	気温	℃	36.1	26.5	36.8	24.0	24.9	28.4	12.0	13.5	13.6	10.5	10.0	11.2	-
	水温	℃	17.0	17.5	17.3	17.7	18.4	17.3	17.3	16.5	17.2	17.3	16.6	17.1	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	-
	pH	-	6.9	6.3	6.7	7.0	6.6	6.4	7.1	6.2	6.6	7.1	6.5	6.4	-
	電気伝導率	mS/m	27.2	24.0	26.2	25.8	28.5	24.9	27.2	27.0	26.1	27.3	27.0	24.4	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0003	0.0003	0.0005	<0.0002	0.0004	0.0007	0.0002	0.0004	0.0004	0.0003	0.0004	0.0008	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0068	0.0130	0.0160	0.0067	0.0077	0.0200	0.0071	0.0063	0.0086	0.0054	0.0073	0.0110	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	5.57	5.16	5.27	5.11	5.68	5.49	5.26	5.25	5.36	4.92	5.50	5.50	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

表 2-1 井戸水調査結果一覧表

No.8 桜町3-6		調査項目	単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目				R7.7.29 12:45	R6.7.16 10:28	R5.7.18 11:35	R7.9.24 13:35	R6.9.30 11:05	R5.9.13 15:00	R7.11.25 13:56	R6.11.25 12:10	R5.11.15 10:30	R7.2.3 11:20	R6.2.13 9:54		
現場測定項目	天候	-	晴	雨	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	曇	晴	-		
	気温	℃	35.8	23.0	35.5	23.5	22.0	25.5	12.1	14.0	13.5	7.0	8.9	-		
	水温	℃	18.4	18.5	18.4	18.4	18.6	18.6	18.4	17.6	18.5	17.6	17.2	-		
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡褐色透明	無色透明	無色透明	淡褐色透明	無色透明	無色透明	-		
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-		
	透視度	度	>50	>50	>50	>50	>50	34	>50	>50	34	>50	>50	-		
	pH	-	6.4	6.0	6.0	6.4	6.2	6.0	6.3	6.1	6.3	5.9	6.4	-		
	電気伝導率	mS/m	21.5	22.0	21.4	21.4	23.1	20.4	21.7	21.8	21.7	21.1	24.2	-		
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0004	0.0003	0.0004	<0.0002	0.0005	0.0004	0.0002	0.0005	0.0003	0.0005	0.0009	0.01以下		
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0008	0.0017	0.0019	<0.0002	0.0009	0.0019	0.0007	0.0009	0.0010	0.0013	0.0017	0.01以下		
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下		
	硝酸性窒素	mg/L	4.81	4.89	4.61	4.44	4.99	4.77	4.62	4.73	4.71	5.04	4.68	10以下		
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下		

No.9 東町1-41			調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目			単位	R7.7.29 9:52	R6.7.16 14:53	R5.7.18 14:50	R6.9.30 15:15	R5.9.13 13:50	R6.11.25 16:40	R5.11.15 13:50	R7.2.3 15:41	R6.2.13 13:25				
現場測定項目	天候	-	晴	雨	晴	欠測	曇	晴	欠測	曇	晴	欠測	曇	晴	-	
	気温	℃	31.4	25.5	35.0		25.0	32.9		12.0	15.1		8.0	16.5	-	
	水温	℃	18.7	19.3	18.7		19.1	19.1		17.2	17.4		16.1	17.2	-	
	水位	m	14.2	12.6	-		11.3	-		12.4	14.0		13.4	13.8	-	
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明		無色透明	無色透明		無色透明	無色透明		無色透明	無色透明	-	
	臭気	-	無臭	無臭	無臭		無臭	無臭		無臭	無臭		無臭	無臭	-	
	透視度	度	>50	>50	>50		>50	>50		>50	>50		>50	>50	-	
	pH	-	6.4	6.7	5.7		6.6	6.4		6.2	9.3		6.0	6.2	-	
	電気伝導率	mS/m	20.6	23.3	19.7		18.8	18.3		17.8	19.3		19.3	19.5	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0004	0.0005	0.0007	0.0003	0.0007	0.0004	0.0004	0.0005	0.0011	0.01以下				
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0021	0.0044	0.0049	0.0015	0.0044	0.0019	0.0022	0.0024	0.0038	0.01以下				
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0003	1以下				
	硝酸性窒素	mg/L	5.67	5.37	5.76	5.90	5.82	5.05	5.13	5.10	5.22	10以下				
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下				

No.10 中町2-1		調査項目	単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目				R7.7.29 15:32	R6.7.16 14:14	R5.7.18 15:30	R7.9.24 16:00	R6.9.30 15:50	R5.9.13 14:00	R7.12.15 13:47	R6.11.25 16:21	R5.11.15 14:05	R8.2.3 15:44	R7.2.3 16:11	R6.2.13 13:55	
現場測定項目	天候	-	晴	雨	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	-	
	気温	℃	35.8	24.5	35.5	24.5	25.0	34.6	13.5	12.5	15.5	9.5	7.7	16.6	-	
	水温	℃	18.0	18.9	18.3	18.2	17.9	18.2	17.9	16.8	18.5	17.0	16.4	17.5	-	
	水位	m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	淡褐色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-	
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	微土臭	無臭	無臭	微土臭	弱土臭	無臭	微土臭	無臭	無臭	-	
	透視度	度	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	-	
	pH	-	6.4	6.5	5.8	6.6	6.1	6.0	6.7	6.7	6.6	6.6	6.1	6.4	-	
	電気伝導率	mS/m	19.2	17.7	17.6	18.8	18.8	17.1	19.9	18.1	17.6	19.6	18.7	18.3	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0004	0.0004	0.0007	<0.0002	0.0004	0.0006	<0.0002	0.0004	0.0004	0.0003	0.0004	0.0008	0.01以下	
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0005	0.0006	0.0009	<0.0002	0.0004	0.0008	0.0004	0.0004	0.0004	0.0004	0.0008	0.0011	0.01以下	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下	
	硝酸性窒素	mg/L	4.31	4.02	4.08	4.35	4.60	4.62	4.76	4.30	4.28	4.32	5.37	4.72	10以下	
	鉛	mg/L	0.014	0.005	0.002	0.019	0.005	0.003	0.009	0.003	0.003	0.010	0.005	0.002	0.01以下	

表 2-1 井戸水調査結果一覧表

No.13 貫井南町2-1		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
調査項目		単位	R7.7.29 12:16	R6.7.16 9:19	R5.7.18 10:45	R7.9.24 16:26	R6.9.30 9:46	R5.9.13 9:21	R7.11.25 17:00	R6.11.25 11:20	R5.11.15 9:24	R8.2.3 10:30	R7.2.3 10:39	R6.2.13 9:32	
現場測定項目	天候	-	晴	雨	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	-
	気温	℃	36.1	25.0	37.5	25.0	24.2	26.0	12.0	15.2	12.5	9.0	8.0	8.1	-
	水温	℃	18.7	18.8	18.4	18.4	18.7	18.4	17.2	18.2	18.3	17.7	16.0	17.1	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	-
	pH	-	7.7	7.5	7.1	7.7	7.9	6.9	7.7	7.1	6.9	7.7	7.4	6.8	-
	電気伝導率	mS/m	39.4	36.6	35.8	38.6	39.5	34.0	38.1	37.9	36.4	39.1	37.1	36.5	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.12	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

表 2-2 検出状況一覧

試料名	所在地	調査回数	トリクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	1, 1, 1-トリクロロ エタン	硝酸性窒素	鉛
No. 2	中町1-15	4	2	0	0	4	0
No. 3	中町2-15	4	0	0	0	0	1
No. 4	梶野町3-12	4	0	0	0	4	0
No. 5	関野町1-11	4	3	4	0	4	2
No. 6	緑町3-13	4	3	4	0	4	3
No. 7	桜町1-2	4	3	4	0	4	0
No. 8	桜町3-6※	3	2	2	0	3	0
No. 9	東町1-41※	1	1	1	0	1	0
No. 10	中町2-1	4	2	3	0	4	4
No. 13	貫井南町2-1	4	0	0	0	1	0

表 2-3 環境基準超過状況（基準超過検体数）

試料名	所在地	調査回数	トリクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	1, 1, 1-トリクロロ エタン	硝酸性窒素	鉛
No. 2	中町1-15	4	0	0	0	0	0
No. 3	中町2-15	4	0	0	0	0	0
No. 4	梶野町3-12	4	0	0	0	0	0
No. 5	関野町1-11	4	0	0	0	0	0
No. 6	緑町3-13	4	0	2	0	0	0
No. 7	桜町1-2	4	0	0	0	0	0
No. 8	桜町3-6	3	0	0	0	0	0
No. 9	東町1-41	1	0	0	0	0	0
No. 10	中町2-1	4	0	0	0	0	2
No. 13	貫井南町2-1	4	0	0	0	0	0

表 2-4 令和 7 年度平均値

試料名	所在地	調査回数	トリクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	1, 1, 1-トリクロロ エタン	硝酸性窒素	鉛
No. 2	中町1-15	4	0.0002	0.0002	0.0002	2.93	0.001
No. 3	中町2-15	4	0.0002	0.0002	0.0002	0.01	0.001
No. 4	梶野町3-12	4	0.0002	0.0002	0.0002	3.02	0.001
No. 5	関野町1-11	4	0.0003	0.0055	0.0002	4.45	0.001
No. 6	緑町3-13	4	0.0004	0.0066	0.0002	4.28	0.001
No. 7	桜町1-2	4	0.0003	0.0065	0.0002	5.22	0.001
No. 8	桜町3-6	3	0.0003	0.0006	0.0002	4.62	0.001
No. 9	東町1-41	1	0.0004	0.0021	0.0002	5.67	0.001
No. 10	中町2-1	4	0.0003	0.0004	0.0002	4.44	0.013
No. 13	貫井南町2-1	4	0.0002	0.0002	0.0002	0.04	0.001

平均値の算出は環境省公布「環水規 51 号 (H11.3.12)」に基づき「報告下限値未満の数値については、報告下限値の数値」として取り扱った。

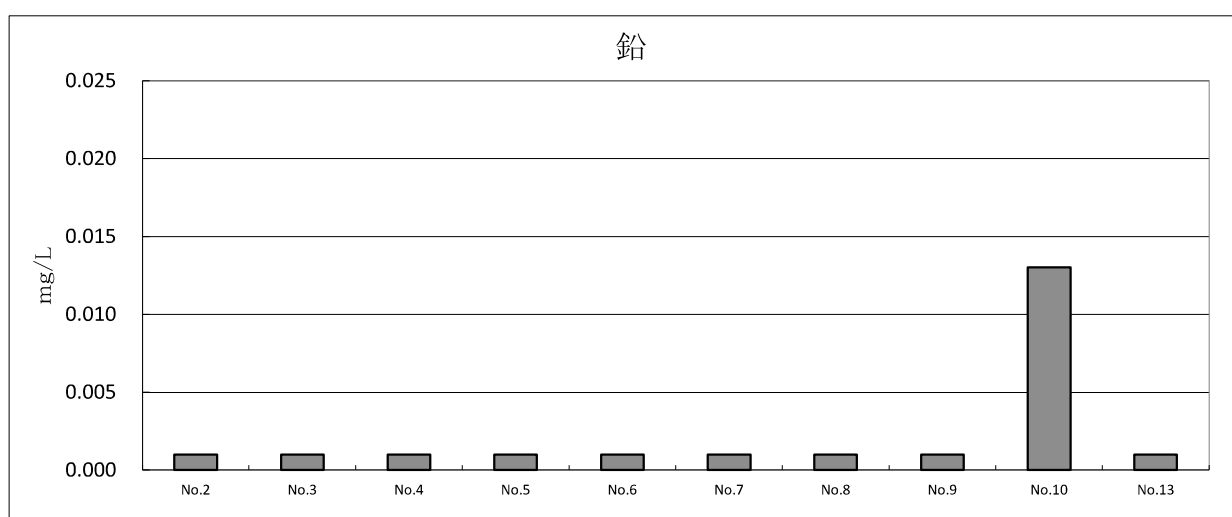
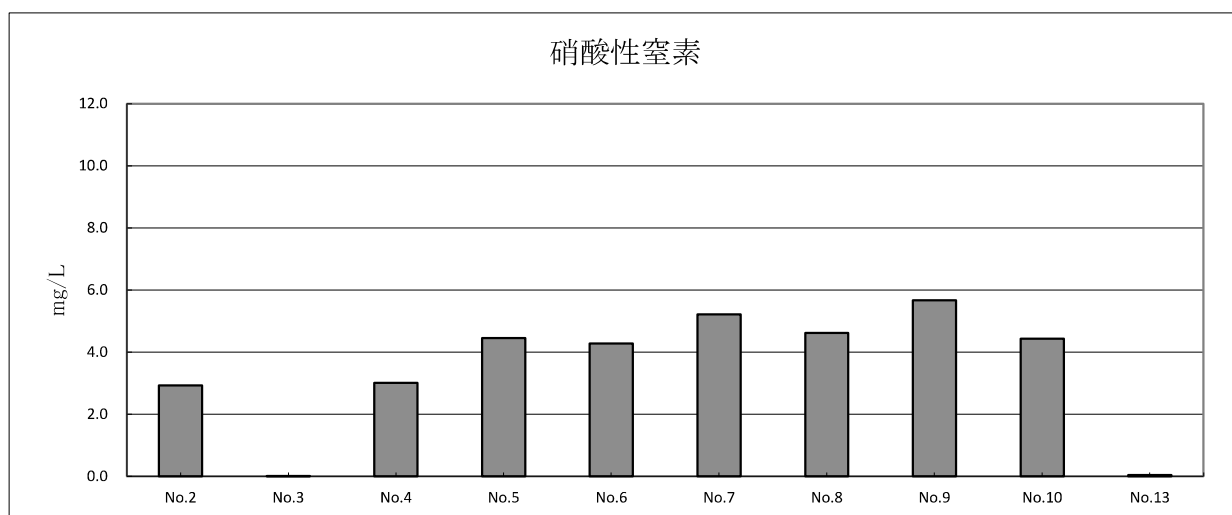
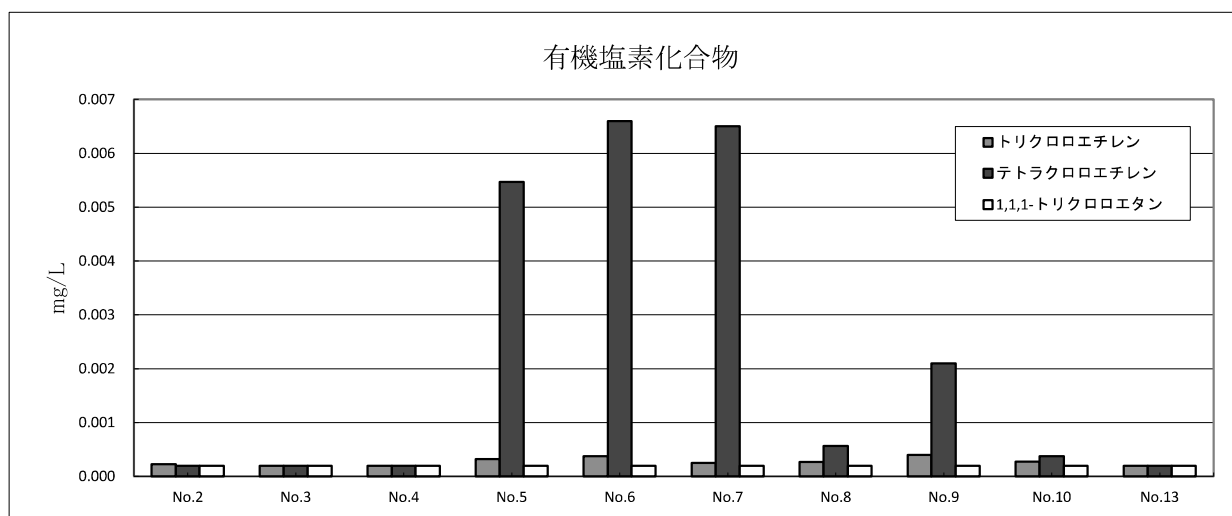


図 2-1 令和 7 年度平均値

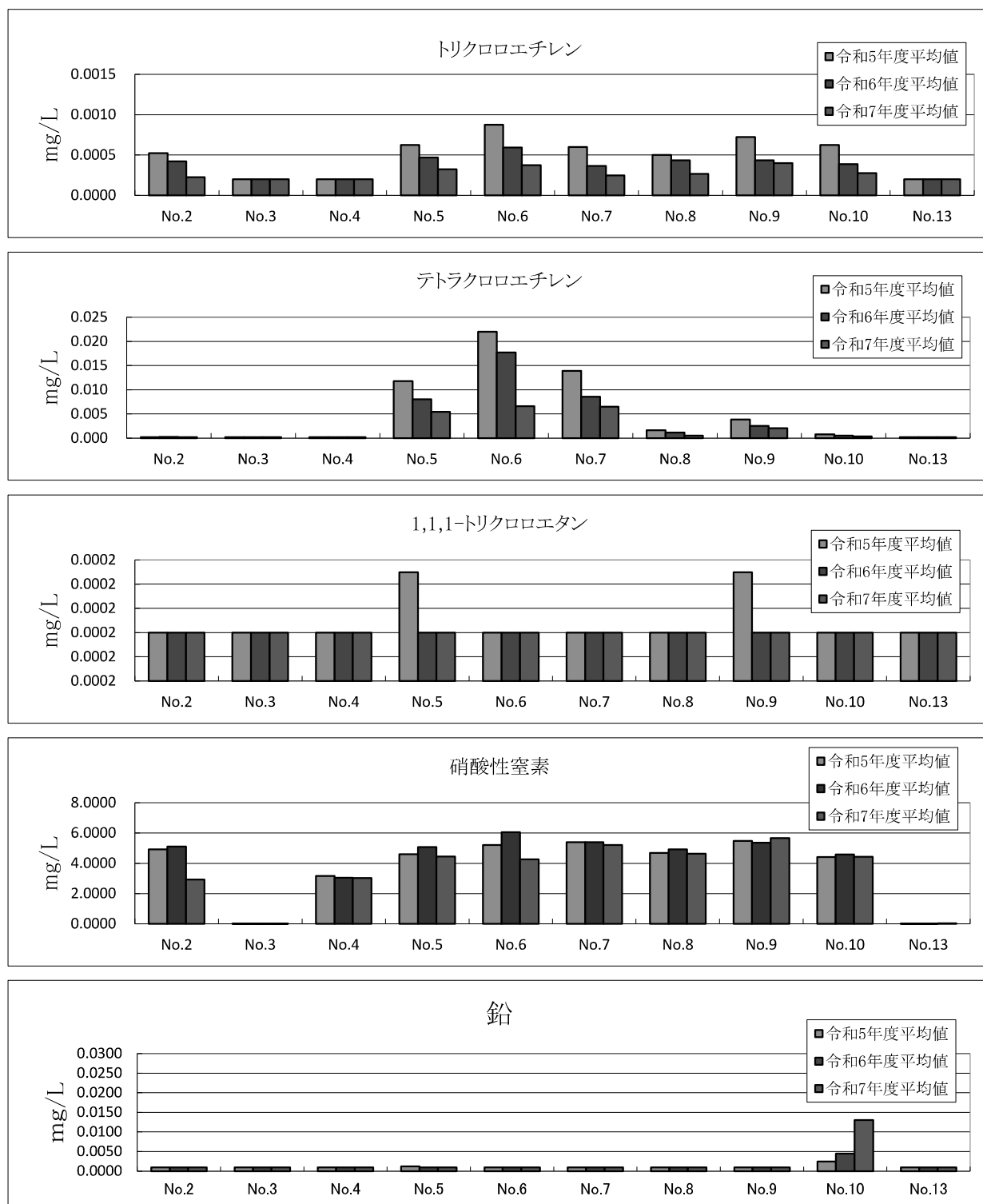


図 2-2 過去 2 年間の調査結果との比較

平均値の算出は環境省公布「環水規 51 号 (H11.3.12)」に基づき「報告下限値未満の数値については、報告下限値の数値」として取り扱った。

各分析項目は以下のような結果であった。

(1) トリクロロエチレン

過年度と同様の傾向を示しており、No. 3, 4, 13 を除く 7 地点で検出されたが全ての地点で環境基準を満足していた。

(2) テトラクロロエチレン

No. 2, 3, 4, 13 を除く 6 地点で検出された。

検出された地点の内、No. 6 の第 3, 4 回調査で基準値を超過した。

(3) 1, 1, 1-トリクロロエタン

全地点で検出下限値未満であった。

(4) 硝酸性窒素

過年度と同様の傾向を示しており、No. 3 以外の地点で検出されたが、環境基準を満足していた。

(5) 鉛

No. 3, 5, 6, 10 で検出され、No. 10 の第 1, 2 回調査で基準値を超過した。

(6) 地域の傾向

過年度に引き続き No. 5, 6, 7, 9 のテトラクロロエチレンが高い傾向を示しており、併せて複数の調査地点でトリクロロエチレンが検出（基準値未満）されている。

また、調査対象地域の特徴として農地として利用されている・過去に農地として利用されていた土地が多いことから、肥料由来と思われる硝酸性窒素も複数の地点で検出（基準値未満）されている。

2-2. 野川調査

野川の水質調査は、小金井市域最下流部の柳橋下にて6月と11月に実施した。

(1) 生活環境項目

今年度の調査結果は、環境基準(D 類型)を全て満足していた。環境基準及び過去2年間の調査結果との比較を表2-5に示す。

表 2-5 環境基準及び過去2年間の調査結果との比較（生活環境項目）

項目		単位	環境基準値	定量 下限値	調査年月日					
					第1回			第2回		
					R7. 6. 5	R6. 6. 6	R5. 6. 1	R7. 11. 6	R6. 11. 7	R5. 11. 2
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	－	6.0以上 8.5以下	－	7.8	7.6	7.6	7.8	7.7	7.6
	溶存酸素 (DO)	mg/L	2以上	0.5	9.6	8.9	8.5	10.6	9.9	10
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	8以下	0.5	0.5	1	2.5	1.2	下限値未満	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	－	0.5	3.2	2.4	4.2	2.6	2.2	2.0
	浮遊物質 量 (SS)	mg/L	100以下	1	5	7	15	6	10	6
	大腸菌数	CFU/100mL	－	－	160	420	130	300	130	200
	全窒素 (T-N)	mg/L	－	0.05	3.42	3.64	1.04	8.83	5.73	5.03
	全りん (T-P)	mg/L	－	0.003	0.036	0.024	0.045	0.022	0.021	0.023

(2) 健康項目

今年度の調査結果は、環境基準を満足していた。環境基準及び過去2年間の調査結果との比較を表2-6に示す。

表 2-6 環境基準及び過去2年間の調査結果との比較（健康項目）

項目		単位	環境基準値	定量下限値	調査年月日					
					第1回			第2回		
					R7. 6. 5	R6. 6. 6	R5. 6. 1	R7. 11. 6	R6. 11. 7	R5. 11. 2
健康項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	10以下	0.01	3.14	3.23	0.94	3.85	5.10	4.65

(3) その他の項目及び現場測定項目

過去２年間の調査結果と今年度の調査結果を見ると、陰イオン界面活性剤は過年度に引き続き下限値未満であり、アンモニア性窒素・リン酸性リン共に低い傾向を示した。

過去の調査結果との比較を表 2-7 に示す。

表 2-7 過去２年間の調査結果との比較（そのほかの項目及び現場測定項目）

項目		単位	環境基準値	定量下限値	調査年月日					
					第1回			第2回		
					R7. 6. 5	R6. 6. 6	R5. 6. 1	R7. 11. 6	R6. 11. 7	R5. 11. 2
その他の項目	陰イオン界面活性剤 (MBAS)	－	－	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	アンモニア性窒素 (NH ₄ -N)	mg/L	－	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01
	りん酸性りん (P ₀₄ -P)	mg/L	－	0.003	0.006	0.007	0.008	0.009	0.004	0.005
現場測定項目	天候	－	－	－	晴	晴	晴	晴	晴	晴
	気温	℃	－	－	26.8	22.8	22.2	16.0	13.2	17.2
	水温	℃	－	－	24.3	21.3	21.7	13.1	15.4	16.0
	外観（色相）	－	－	－	淡黄色透明	淡緑色透明	淡緑色透明	淡灰色透明	淡黄色透明	無色透明
	臭気	－	－	－	弱：藻臭	弱：藻臭	弱：藻臭	弱：藻臭	弱：藻臭	無臭
	透視度	度	－	－	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0
	流量	m ³ /sec	－	－	0.057	0.084	0.006	0.033	0.332	0.085
	全水深	m	－	－	0.08	0.16	0.09	0.10	0.19	0.16

2-3. 湧水調査

(1) 水質調査結果

水質調査の結果を表 2-8 に示す。

1) 透視度

すべての調査回で 50 度以上を記録した。外観は 6 月・12 月共に無色透明であった。

2) 水温

水温は 6 月に 19.2～19.7℃、12 月に 17.9～18.2℃であり、一般的な湧水の水温であった。

3) 臭気

無臭であった。

4) 流量

R7 年度の全国的な渇水の影響が表れ、12 月の流量が減少した。

5) pH

pH は 6.5～6.8 であった。

6) 電気伝導率

6 月調査が 17.0～22.7ms/m、12 月調査が 17.3～23.9ms/m であった。

7) 硝酸性窒素

全調査回で基準を満足しており、過年度の傾向とほぼ同等であった。

8) トリクロロエチレン

全地点で基準を満足したものの、0.0002～0.0003mg/L の間で検出された。

9) テトラクロロエチレン

全地点で基準を満足したものの、0.0003～0.0022mg/L の間で検出された。

10) 1, 1, 1-トリクロロエタン

全調査回で検出下限値未満であった。

表 2-8 湧水水質調査結果一覧表

調査地点 貫井神社

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
採取日	-	令和7年6月23日	令和6年6月21日	令和5年6月26日	令和7年12月15日	令和6年12月2日	令和5年12月7日	-
採取時刻	-	9:15	10:00	11:40	8:55	8:45	9:00	-
天候	-	晴れ	雨	晴	晴れ	晴	晴	-
気温	℃	29.2	19.0	24.5	10.0	9.5	10.0	-
水温	℃	19.7	18.5	17.5	18.2	17.3	17.4	-
外観	-	無色	無色	無色	無色	無色	無色	-
臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m ³ /sec	0.003	0.007	0.002	0.001	0.006	0.003	-
pH	-	6.6	6.3	6.5	6.5	6.3	6.3	-
電気伝導率	ms/m	21.1	21.7	14.5	23.3	20.8	19.3	-
硝酸性窒素	mg/L	4.52	4.15	5.19	5.54	5.29	5.43	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.0003	0.0006	0.0002	0.0003	0.0004	0.0004	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0012	0.0016	0.0002	0.0014	0.0012	0.0015	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

調査地点 滄浪泉園

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
採取日	-	令和7年6月23日	令和6年6月21日	令和5年6月26日	令和7年12月15日	令和6年12月2日	令和5年12月7日	-
採取時刻	-	10:15	9:00	10:51	9:45	9:45	10:23	-
天候	-	晴れ	雨	晴	晴れ	晴	晴	-
気温	℃	28.5	21.0	24.0	9.0	10.5	11.9	-
水温	℃	19.3	19.0	17.9	18.1	17.2	16.7	-
外観	-	無色	無色	無色	無色	無色	無色	-
臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m ³ /sec	0.001	0.002	0.005	<0.001	0.003	<0.001	-
pH	-	6.7	6.4	6.5	6.6	6.4	6.4	-
電気伝導率	ms/m	17.0	15.6	18.7	17.3	19.6	18.5	-
硝酸性窒素	mg/L	4.87	4.62	5.74	2.47	5.24	5.28	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.0002	0.0005	0.0002	0.0003	0.0005	0.0003	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0003	0.0006	0.0044	0.0004	0.0004	0.0005	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

調査地点 中町四丁目公共緑地

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
採取日	-	令和7年6月23日	令和6年6月21日	令和5年6月26日	令和7年12月15日	令和6年12月2日	令和5年12月7日	-
採取時刻	-	11:10	10:50	10:30	10:54	11:10	11:30	-
天候	-	晴れ	雨	晴	晴れ	晴	晴	-
気温	℃	29.3	19.0	25.0	9.0	12.0	15.3	-
水温	℃	19.2	18.4	17.7	18.1	17.3	17.1	-
外観	-	無色	無色	無色	無色	無色	無色	-
臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m ³ /sec	0.003	0.003	0.002	<0.001	0.003	0.001	-
pH	-	6.7	6.4	6.4	6.8	6.5	6.5	-
電気伝導率	ms/m	22.7	20.2	15.6	23.9	22.6	18.1	-
硝酸性窒素	mg/L	7.13	7.18	6.82	7.30	6.54	7.07	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	0.0003	0.0005	<0.0002	0.0002	0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0022	0.0040	0.0006	0.0019	0.0039	0.0031	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

調査地点 美術の森緑地

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
採取日	-	令和7年6月23日	令和6年6月21日	令和5年6月26日	令和7年12月15日	令和6年12月2日	令和5年12月7日	-
採取時刻	-	11:50	11:35	9:00	11:41	12:05	12:25	-
天候	-	晴れ	雨	晴	晴れ	晴	晴	-
気温	℃	30.0	18.5	25.8	10.0	13.9	17.8	-
水温	℃	19.2	18.1	17.1	17.9	16.8	17.4	-
外観	-	無色	無色	無色	無色	無色	無色	-
臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m ³ /sec	0.003	0.003	0.004	<0.001	0.003	0.001	-
pH	-	6.7	6.4	6.4	6.7	6.5	6.5	-
電気伝導率	ms/m	17.4	16.4	17.7	18.8	17.3	13.1	-
硝酸性窒素	mg/L	5.08	6.17	5.16	4.39	5.38	5.28	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	0.0005	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	0.0002	0.0021	0.0003	<0.0002	0.0002	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

環境基準値：地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平成9年3月13日環境省告示第10号)

1) 確認状況

令和7年度調査における、各地点の目別確認種類数を表2-10に示す。

6月に43種類、12月に45種類、合計10綱21目33科59種類の底生生物が確認された。

目別で確認種数が多かった目は、ハエ目（6月18種類、12月17種類、合計24種類）、イトミミズ目（6月5種類、12月8種類、合計9種類）であった。

地点別の確認種数では、貫井神社（6月23種類、12月25種類、合計33種類）、滄浪泉園（6月24種類、12月25種類、合計34種類）、中町4丁目公共緑地（6月20種類、12月23種類、合計30種類）、美術の森緑地（6月23種類、12月27種類、合計33種類）であった。

6月・12月共に全地点で確認できた種類は、ナミウズムシ、マメシジミ属、ナミミズミミズ、ミズムシ(甲)等7種類であった。また、季節変動により出現しない時季があるものの、全地点で確認された種類には、これらの他にイトミミズ亜科、オニヤンマ、カクツツトビケラ属、トラフユスリカ属、ハモンユスリカ属等があった。これらを加えると、合計15種類が全ての地点で確認された。

表 2-10 底生生物目別確認種類数

綱名	目名	貫井神社			滄浪泉園			中町四丁目 公共緑地			美術の森緑地			計		
		6月	12月	合計	6月	12月	合計	6月	12月	合計	6月	12月	合計	6月	12月	合計
ヒドロ虫綱	ハナクラゲ目		1	1											1	1
渦虫綱	三岐腸目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
有針綱	ハリヒモムシ目		1	1	1		1					1	1	1	1	1
二枚貝綱	マルスダレガイ目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
腹足綱	オニツノガイ目							1	1	1				1	1	1
	モノアラガイ目		1	1											1	1
ミズ綱	オヨギミミズ目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1
	ヒメミミズ目				1		1	1		1	1	1	1	1	1	1
	イトミミズ目	4	5	5	4	6	7	4	4	5	3	6	6	5	8	9
	厚環帯目	1	1	2										1	1	2
ヒル綱	吻無蛭目	1	1	1										1	1	1
クモ綱(蛛形綱)	ダニ目	2		2										2		2
軟甲綱	ヨコエビ目	1		1										1		1
	ワラジムシ目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	エビ目				1	3	3		1	1		1	1	1	3	3
昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	1	1	1				1		1	1	1	1	1	1	1
	トンボ目(蜻蛉目)	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1
	カワゲラ目(セキ翅目)										1		1	1		1
	トビケラ目(毛翅目)	3	3	4	1		1	1	1	1	1	1	1	3	3	4
	ハエ目(双翅目)	5	6	9	11	11	16	8	11	15	10	11	15	18	17	24
	コウチュウ目(鞘翅目)										1	1	1	1	1	1
総計		23	25	33	24	25	34	20	23	30	23	27	33	43	45	59

目別個体数のグラフを図 2-3 に、目別湿重量のグラフを図 2-4 に示す。

2 回の調査における平均個体数は、貫井神社（588 個体/0.25 m²）、滄浪泉園（1816 個体/0.25 m²）、中町四丁目公共緑地（1826 個体/0.25 m²）、美術の森緑地（738 個体/0.25 m²）であった。

目別個体数は、滄浪泉園および中町四丁目公共緑地の 2 地点が突出して多かった。滄浪泉園では、ハモンユスリカ属等のユスリカ類、ナミミズミミズ等のイトミミズ類が多かったこと、中町四丁目公共緑地では、ナミミズミミズ、ミズミミズ科等のイトミミズ類が多かったことが影響したと考えられる。

平均湿重量は、貫井神社（1.933g/0.25 m²）、滄浪泉園（6.079g/0.25 m²）、中町四丁目公共緑地（2.442g/0.25 m²）、美術の森緑地（1.113g/0.25 m²）であった。滄浪泉園の湿重量が突出して多かったが、これはナミウズムシが多かったこと、ガガンボ科の *Nippotipula* 亜属の大型個体が含まれていたことが影響したと考えられる。

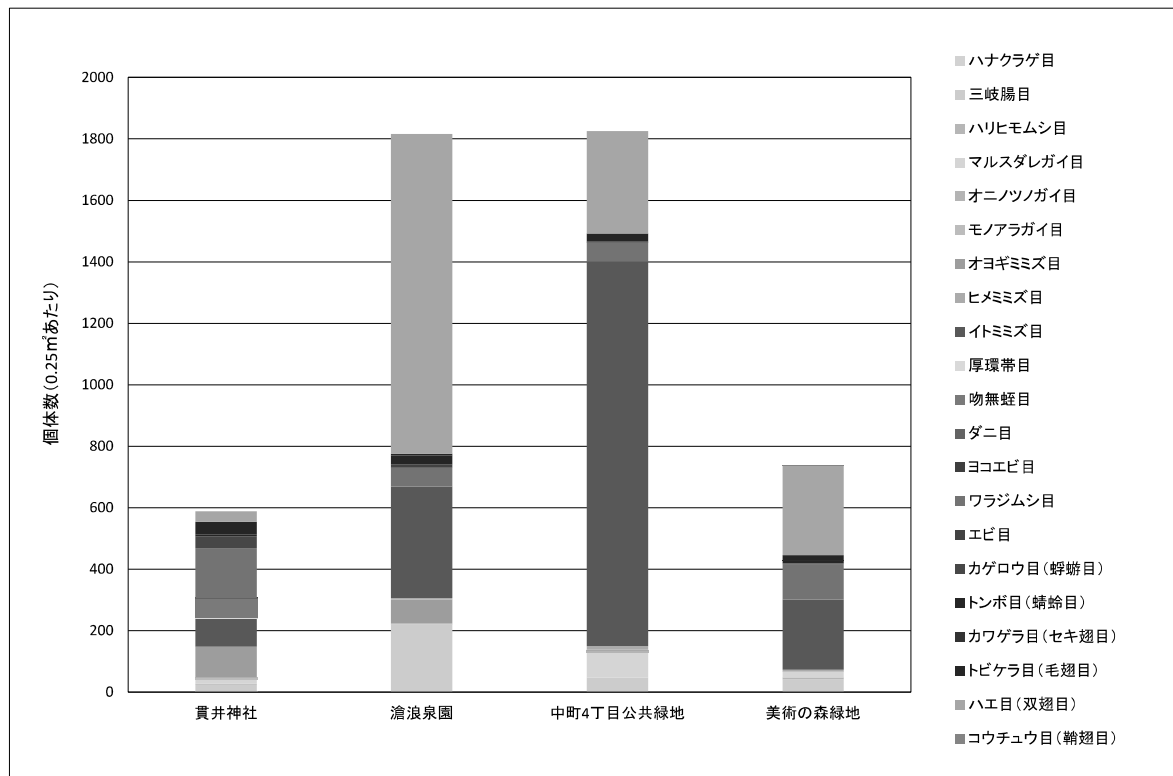


図 2-3 底生生物の目別個体数
※6 月と 12 月の平均値

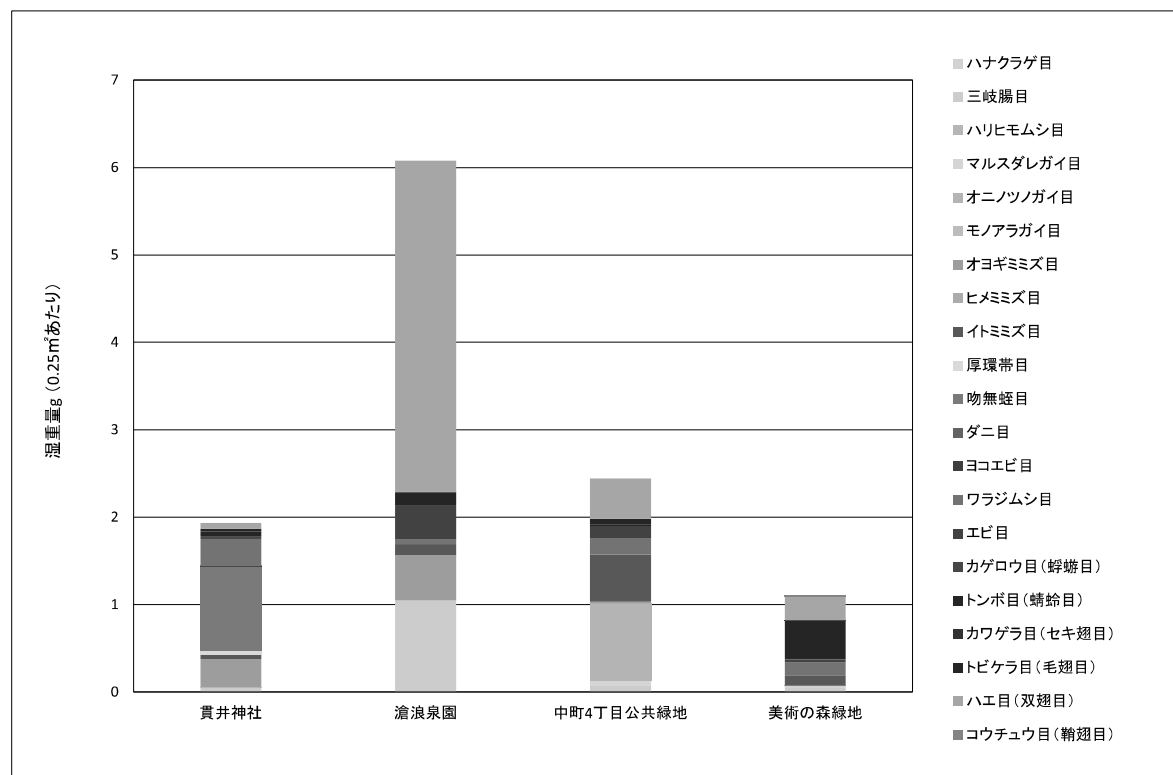


図 2-4 底生生物の目別湿重量
※6 月と 12 月の平均値

「環境省 全国水生生物調査」の簡易水質調査法における水質階級及び指標種を表 2-11 に、水質判定結果を表 2-12 に示す。

本調査では、水質階級Ⅰ～Ⅳに該当する様々な種が確認された。

全体に、水質階級Ⅰのウズムシ類、水質階級Ⅲのミズムシ(甲)が多く確認された。この他に、水質階級Ⅰではサワガニおよびナガレトビケラ類が、水質階級Ⅱでは、カワニナ、コガタシマトビケラおよびゲンジボタルが、水質階級Ⅲではヒル類が、水質階級Ⅳでは、アメリカザリガニおよびエラミミズが確認された。

中町四丁目公共緑地は、6月、12月ともに水質階級Ⅰと判定された。滄浪泉園および美術の森緑地は、水質階級Ⅰと判定された季節と、水質階級ⅠおよびⅢと判定された季節があった。これら3地点は、全体に水質は良好と考えられた。貫井神社は6月、12月ともに水質階級Ⅲと判定され、水質は他の地点に較べて汚れているようであった。

表 2-11 水生生物による簡易水質調査法における水質階級と指標生物

水質階級	指標生物
水質階級Ⅰ きれいな水	カワゲラ類、ナガレトビケラ類、ヤマトビケラ類、ヒラタカゲロウ類、ヘビトンボ類、ブユ類、アミカ類、ウズムシ類、サワガニ
水質階級Ⅱ ややきれいな水	コガタシマトビケラ、オオシマトビケラ、ヒラタドロムシ、ゲンジボタル、コオニヤンマ、カワニナ、スジエビ、ヤマトシジミ、イシマキガイ
水質階級Ⅲ きたない水	ミズムシ、ミズカマキリ、タイコウチ、ヒル類、タニシ類、イソコツブムシ、ニホンドロソコエビ
水質階級Ⅳ とてもきたない水	セスジユスリカ、チョウバエ、エラミミズ、サカマキガイ、アメリカザリガニ

環境省 HP(<https://www.env.go.jp/press/files/jp/568.html>)の表を一部改変

※赤字は現地調査で確認された種を示す。

表 2-12 簡易水質調査法による水質判定結果

地点	貫井神社		滄浪泉園		中町四丁目公共緑地		美術の森緑地	
	6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月
水質階級	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ、Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ、Ⅲ

調査地点別の優占種を表 2-13 に示す。

全体に、ミズムシ(甲)、ナミミズミズ等のミミズ類、ハモンユスリカ属等のユスリカ類が優占している地点が多かった。

地点別に見ると、貫井神社では年間を通してミズムシ(甲)、オヨギミズ属が優占していた。また、他の地点に較べて個体数が少ない傾向にあった。滄浪泉園では年間を通してハモンユスリカ属が優占していたほか、ナミウズムシが多く確認された。中町四丁目公共緑地では年間を通してミズミズ科をはじめとしたイトミミズ類が優占していた。美術の森緑地では第 1 優占種が季節によって異なり、6 月はナガライトミミズ属、12 月はハモンユスリカ属が優占していた。

表 2-13 底生生物の地点別優占種

優占階級	貫井神社		滄浪泉園		中町四丁目公共緑地		美術の森緑地	
	6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月
優占1位	ミズムシ(甲)	ミズムシ(甲)	ハモンユスリカ属	ハモンユスリカ属	ミズミズ科	ミズミズ科	ナガライトミズ属	ハモンユスリカ属
	195	130	778	584	245	1317	95	187
優占2位	オヨギミズ属	オヨギミズ属	ナミミズミズ	コナユスリカ属	ナミミズミズ	コナユスリカ属	ミズムシ(甲)	ミズムシ(甲)
	126	73	468	264	164	366	68	163
優占3位	シマイシビル	カクツツトビケラ属	ナミウズムシ	ナミウズムシ	フクロイトミミズ	イトミミズ亜科	ヒゲユスリカ属	ナミミズミズ
	76	46	202	240	114	327	67	144

※上段は種類、下段は個体数を示す。

各調査地点の確認状況は以下のとおりである。

・貫井神社

貫井神社では6月に23種類、12月に25種類、合計33種類が確認された。本地点ではミズムシ(甲)、オヨギミズ属等が多く確認された。

本地点は比較的水量が豊富であり、修景の維持管理により落葉等が取り除かれている。また、他の地点と異なり底質は細礫や中礫等の礫質となっていた。このような環境を反映して、ナミコガタシマトビケラ、ムナグロナガレトビケラ、トウヨウグマガトビケラ等のトビケラ類、シロハラコカゲロウおよびシマイシビル等が確認された。ユスリカ類は他の地点に較べて種類数、個体数ともに少なかった。注目種のマメシジミ属が確認された。

・滄浪泉園

滄浪泉園では6月に24種類、12月に25種類、合計34種類が確認された。本地点では、ハモンユスリカ属、ナミミズミズおよびナミウズムシ等が多く確認された。

本地点は流程が極めて短いために、採集箇所が一部下流の池にもかかっていた。このような環境を反映して、シナヌマエビ、アメリカザリガニ等の止水性の種も確認された。

注目種のサワガニが確認された他、条件付特定外来生物のアメリカザリガニが確認された。また、外来生物法の指定はないが、外来種のシナヌマエビが確認された。

・中町四丁目公共緑地

中町四丁目公共緑地では、6月に20種類、12月に23種類、合計30種類が確認された。本地点では、ミズミズ科、ナミミズミズ等のイトミミズ類、コナユスリカ属が多く確認された。

本地点は底質に泥が多くて水深が浅く流れが緩やかとなっており、滄浪泉園、美術の森緑地と似た環境となっている。出現種もこれらの地点と共通する点が多く、ナミウズムシ、ナミミズミズ等のイトミミズ類、コナユスリカ属、ハモンユスリカ属等のユスリカ類が多く確認された。注目種では、マメシジミ属、サワガニが確認された。

・美術の森緑地

美術の森緑地では、6月に23種類、12月に27種類、合計33種類が確認された。本地点では、ナガレイトミミズ属、ハモンユスリカ属、ミズムシ(甲)等が多く確認された

本地点も底質が泥質で、流れが緩やかなことから、滄浪泉園および中町四丁目公共緑地との共通点が多く、主にナミウズムシ、ナミミズミズ等のイトミミズ類、オニヤンマ、カクツツトビケラ属、ボカシヌマユスリカ属等のユスリカ類等が確認された。

注目種では、マメシジミ属、サワガニ、ゲンジボタルの3種が確認された。

2) 注目種

注目種の選定基準を表 2-14 に、外来種の選定基準を表 2-15 に示す。

注目種にはマメシジミ属、サワガニ、ゲンジボタルの 3 種が選定された。選定された注目種を表 2-16 に示す。

外来種には、アメリカザリガニ 1 種が選定された。選定された外来種を表 2-17 に示す。

表 2-14 注目種の選定基準

選 定 基 準	
①	「環境省レッドリスト2020」(2020、環境省)における 絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧ⅠA類(CR)、絶滅危惧ⅠB類(EN)、絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)
②	「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部) 東京都レッドリスト(本土部、北多摩)2020年版(2021、東京都環境局)」 絶滅危惧ⅠA類(CR)、絶滅危惧ⅠB類(EN)、絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)、留意種

表 2-15 外来種の選定基準

選 定 基 準	
①	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004. 法律78)における 特定外来生物、条件付特定外来生物、未判定外来生物、種類名証明の添付が必要な生物

表 2-16 注目種一覧

No.	科名	種名	選定基準	
			①	②
1	マメシジミ科	マメシジミ属	－	DD
2	サワガニ科	サワガニ	－	留意種
3	ホタル科	ゲンジボタル	－	NT
合計 3科 3種			0	3

表 2-17 外来種一覧

No.	科名	種名	選定基準
			①
1	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	条件付特定
合計 1科 1種			1

(3) 付着藻類

付着藻類調査結果一覧表を表 2-17 に示す。

表 2-17 湧水付着藻類調査結果一覧表

調査日：令和7年6月23日、12月15日
調査方法：定置採集 (5cm×5cm×1箇所)

No.	綱名	目名	科名	和名	学名	地点名						重要種	汚濁耐性		
						黄井神社	倉浪泉園	中町4丁目	美術の森緑地	環境省					
						6月	12月	6月	12月	6月	12月	RL-2025	東京都RL-2020 本土部		
1	藍藻綱	カマエシワノ目	カマエシワノ科	コンボウランソウ属の数種	<i>Chamaesiphon</i> spp.	1,400	6,600	400							
2		カクレイト目	ペニマダラ科	タンスイペニマダラ	<i>Rivierina japonicostriataensis</i>	49,500	11,500			4,500,000	23,000				
3		カワモズク目	カワモズク科	カワモズク科のシヤントラシア科	<i>Chantrelaria</i> sp.	1,230,000	387,000	2,760,000	1,450,000	23,100	108,000	10,400	NT		
4	珩藻綱	羽状目	ユーノチア科	イチモンジケイノ属	<i>Eunotia bilineris</i>					15,500					
5				イチモンジケイノ属	<i>Eunotia biseriataoides</i>	54	214					94	4,430		
6				イチモンジケイノ属	<i>Eunotia minor</i>	81	107					188	554		
7				イチモンジケイノ属	<i>Eunotia naegeli</i>										
8				イチモンジケイノ属	<i>Eunotia praerupta</i>								369		
9				ニセウチケイノ属	<i>Amphora copulata</i>	27				7,770				184	
10				ニセウチケイノ属	<i>Amphora pediculus</i>	27	214			345	9,320	11		377	
11				クサビケイノ属	<i>Gomphonema parvulum</i>	27									
12				フネケイノ属	<i>Navicula contenta</i>										
13				フネケイノ属	<i>Navicula minima</i>										
14	アクナンテス科		ジュウシゲケイノ属	<i>Stauroneis kriegei</i>	81		259			27	2,160	369			
15			ツメケイノ属	<i>Achnanthes montana</i>								565	184		
16			ツメケイノ属	<i>Achnanthes oblongella</i>				1,340	49,700	11	43	565	1,660		
17			ツメケイノ属	<i>Achnanthes rupestris</i>	27			1,600	96,300	133	21	1,880	2,210		
18			ツメケイノ属	<i>Achnanthes rupestris</i>											
19			ツメケイノ属	<i>Achnanthes convergens</i>	644										
20			ツメケイノ属	<i>Achnantheidum exiguum</i>				1,030	26,400				94		
21			ツメケイノ属	<i>Achnantheidum lapidosum</i>				432	7,770	81	21	4,050			
22			ツメケイノ属	<i>Achnantheidum minutissimum</i>				563	43				94		
23			ツメケイノ属	<i>Achnantheidum subdsonis</i>					43						
24			ツメケイノ属	<i>Achnantheidum suchlandtii</i>					302	20,200					
25			ツメケイノ属	<i>Cocconeis placentula</i>	2,060	36,300									
26			ツメケイノ属	<i>Nupela neglecta</i>					1,160	57,500	11	5	1,790	554	
27			ツメケイノ属	<i>Planorhynchium frequentissimum</i>					1,550	49,700	11	5	2,030		
28	ツメケイノ属	<i>Planorhynchium lanceolatum</i>	2,200	2,680				1,600	4		1,800				
				<i>Platessa oblongella</i>			582	3,100	411	53	282	4,800			
種類数合計						14	8	16	19	11	17	1	1		
総細胞数 (cells/25cm2)						1,286,691	444,615	2,769,973	3,260,060	23,898	108,398	4,756,767	81,212		
沈殿量 (ml/25cm2)						0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5	7.5		

※ (*印を付した値は系統体を計測した。

1) 配列と学名は原則的に平成26年版生物リストに従った。珪藻類の属名など部分的には「小林弘 珪藻図鑑1」に従った。

2) 重要種の略称及び表中の記号は以下を示す。

環境省RL:「環境省版レッドリスト(日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト (雑草類、藻類、地衣類、菌類) (2020、環境省)」

EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR:EN: 絶滅危惧ⅠA類、EN: 絶滅危惧ⅠB類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧Ⅱ類、DD: 情報不足、LP: 地域個体群

東京都RL:「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部) 東京都レッドリスト(本土部)2020年版(2021、東京都)」

EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR:EN: 絶滅危惧Ⅰ類、OR: 絶滅危惧ⅠB類、EN: 絶滅危惧ⅠB類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧Ⅱ類、DD: 情報不足、留意種

1) 確認状況

令和7年度調査における、各地点の分類群別種類数を表2-19に、分類群別細胞数を図2-5に、優占種を表2-20～表2-21に示す。

令和7年度調査により、6月に23種類、12月に24種類、合計3綱4目6科28種類の付着藻類が確認された。分類群別に見ると珪藻綱が25種と最も多く、その他は藍藻綱1種類、紅藻綱2種類であった。

調査地点別の種類数は、貫井神社(6月14種類、12月8種類、合計14種類)、滄浪泉園(6月16種類、12月19種類、合計23種類)、中町四丁目公共緑地(6月11種類、12月11種類、合計13種類)、美術の森緑地(6月17種類、12月17種類、合計21種類)であった。

珪藻類のほとんどは弱汚濁耐性種で占められており、調査地点の水質は良好な状態が保たれているものと考えられた。

表2-18 付着藻類の調査地点別確認種類数

綱名	貫井神社			滄浪泉園			中町四丁目 公共緑地			美術の森緑地			計		
	6月	12月	合計	6月	12月	合計	6月	12月	合計	6月	12月	合計	6月	12月	合計
藍藻綱	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1
紅藻綱	2	2	2	1	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2
珪藻綱	11	5	11	14	17	20	10	10	12	15	15	19	23	21	25
合計	14	8	14	16	19	23	11	11	13	17	17	21	26	24	28

各地点の6月と12月の平均細胞数は、貫井神社約86.6万/25c m²、滄浪泉園約301.5万/25c m²、中町四丁目公共緑地約6.6万/25c m²、美術の森緑地約241.9万/25c m²で、全地点で紅藻綱が最も多かった。

全体に紅藻綱のカワモズク科のシャントランシア期および注目種のタンスイベニマダ(*Riverina jigongshanensis*)の細胞数が多く確認された。その他では、珪藻綱のコメツブケイソウ属(*Cocconeis placentula*)、ツメケイソウ属(*Achnanthes rupestoides*)およびスジカクレケイソウ属(*Nupela neglecta*)等が比較的多く確認された。

カワモズクは湧水地の水路などを好むとされており、調査地点の環境が本種の生育に適しているものと考えられる。

なお、カワモズク科のシャントランシア期は、主にカワモズク類の生活史の一時期に見られる体のつくりを指すもので、形態的に種を分ける特徴が乏しいが、比較的よく見られるため便宜的に呼称されている。糸状の胞子体で無性生殖を行い、石等に付着して生育している。

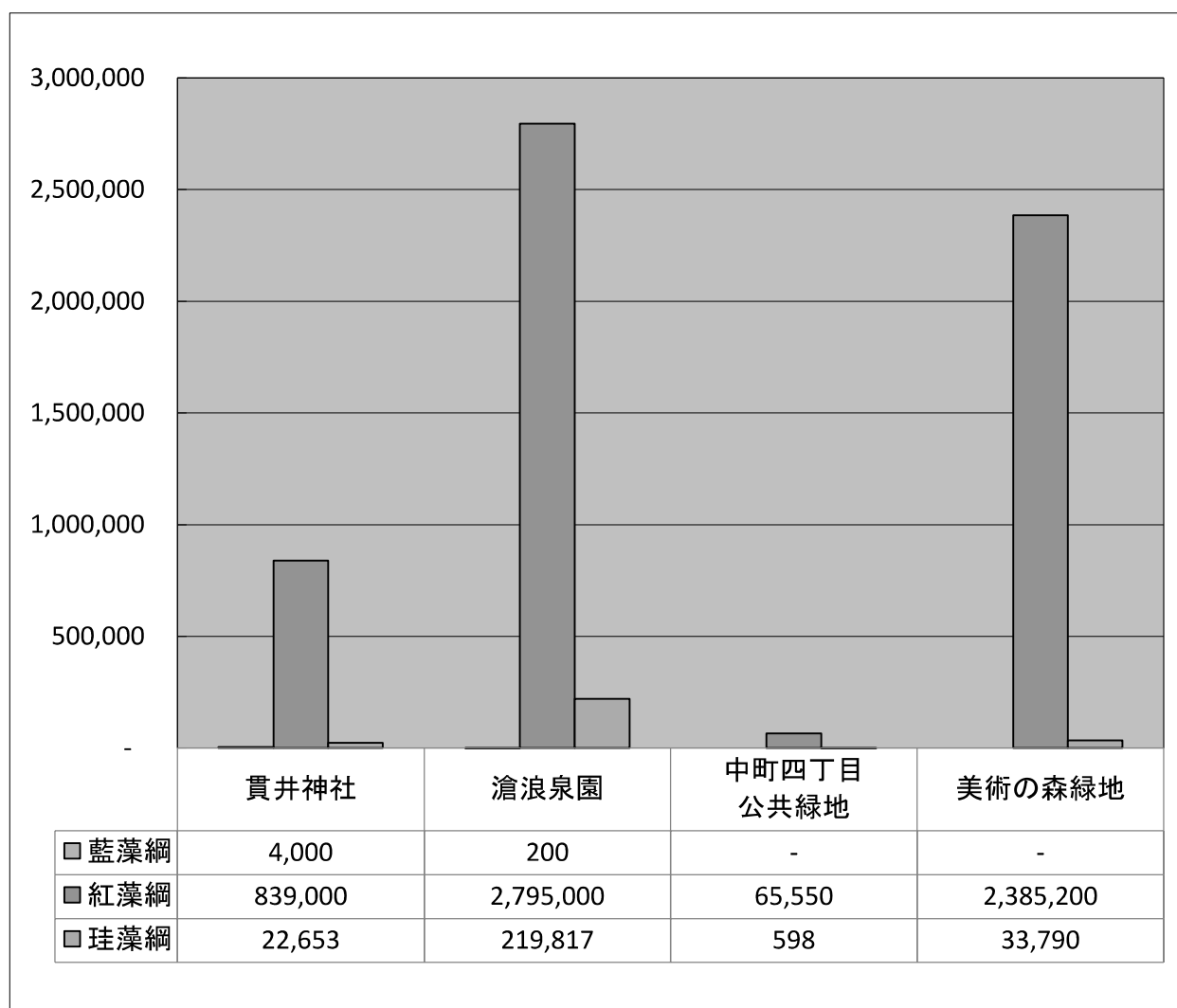


図 2-5 付着藻類の分類群別細胞数（※6 月と 12 月の平均値 25 cm²あたり）

調査地点別の優占種を表 2-19、表 2-20 に示す。

貫井神社、滄浪泉園および中町四丁目公共緑地では、紅藻綱カワモズク科のシャントランシア期が優占していた。美術の森緑地では、紅藻綱のタンスイベニマダラ (*Riverina jigongshanensis*)、珪藻綱のコメツブケイソウ属 (*Cocconeis placentula*) が優占していた。この他、優占種 2 位以下ではこれらの他に、珪藻綱のフタスジツメワカレケイソウ属 (*Platessa oblongella*)、ツメケイソウ属 (*Achbanthes rupestoides*) が確認された。

表 2-19 付着藻類の地点別優占種 (1)

優占階級	貫井神社		滄浪泉園	
	6月	12月	6月	12月
優占 1位	紅藻綱 カワモズク科のシャントランシア期 chantransia-phase of Batrachospermaceae gen. sp.	紅藻綱 カワモズク科のシャントランシア期 chantransia-phase of Batrachospermaceae gen. sp.	紅藻綱 カワモズク科のシャントランシア期 chantransia-phase of Batrachospermaceae gen. sp.	紅藻綱 カワモズク科のシャントランシア期 chantransia-phase of Batrachospermaceae gen. sp.
	1,230,000	387,000	2,760,000	1,450,000
優占 2位	紅藻綱 タンスイベニマダラ <i>Riverina jigongshanensis</i>	珪藻綱 コメツブケイソウ属 <i>Cocconeis placentula</i>	珪藻綱 ツメケイソウ属 <i>Achnanthes rupestoides</i>	紅藻綱 タンスイベニマダラ <i>Riverina jigongshanensis</i>
	49,500	36,300	1,600	1,380,000
優占 3位	珪藻綱 フタスジツメワカレケイソウ属 <i>Planothidium lanceolatum</i>	紅藻綱 タンスイベニマダラ <i>Riverina jigongshanensis</i>	珪藻綱 フタスジツメワカレケイソウ属 <i>Planothidium frequentissimum</i>	珪藻綱 ツメケイソウ属 <i>Achnanthes rupestoides</i>
	2,200	11,500	1,550	96,300

※上段は種類名、下段は細胞数/25cm²を示す。

表 2-20 付着藻類の地点別優占種 (2)

優占階級	中町四丁目公共緑地		美術の森緑地	
	6月	12月	6月	12月
優占 1位	紅藻綱 カワモズク科のシャントランシア期 chantransia-phase of Batrachospermaceae gen. sp.	紅藻綱 カワモズク科のシャントランシア期 chantransia-phase of Batrachospermaceae gen. sp.	紅藻綱 タンスイベニマダラ <i>Riverina jigongshanensis</i>	珪藻綱 コメツブケイソウ属 <i>Cocconeis placentula</i>
	23,100	108,000	4,500,000	29,000
優占 2位	珪藻綱 フタスジツメワカレケイソウ属 <i>Platessa oblongella</i>	珪藻綱 コメツブケイソウ属 <i>Cocconeis placentula</i>	紅藻綱 カワモズク科のシャントランシア期 chantransia-phase of Batrachospermaceae gen. sp.	紅藻綱 タンスイベニマダラ <i>Riverina jigongshanensis</i>
	411	202	237,000	23,000
優占 3位	珪藻綱 ツメケイソウ属 <i>Achnanthes rupestoides</i>	珪藻綱 フタスジツメワカレケイソウ属 <i>Platessa oblongella</i>	珪藻綱 コメツブケイソウ属 <i>Cocconeis placentula</i>	紅藻綱 カワモズク科のシャントランシア期 chantransia-phase of Batrachospermaceae gen. sp.
	133	53	5,840	10,400

※上段は種類名、下段は細胞数/25 cm²を示す。

各調査地点の確認状況は以下の通りである。

・貫井神社

貫井神社では6月14種類、12月8種類、合計14種類が確認された。

優占種1位は6月、12月ともに、カワモズク科のシャントランシア期で、湧水が安定した流量で流れる環境を反映したものと考えられる。優占種2位および3位は、紅藻綱の注目種タンスイベニマダラ(*Riverina jigongshanensis*)、珪藻綱のコメツブケイソウ属(*Cocconeis placentula*)およびフタスジツメワカレケイソウ属(*Planothidium lanceolatum*)で、昨年と同様の傾向であった。これらの種はいずれもきれいな水質に出現する種であり、本地点の水質の良さを示すものと考えられる。本年度は、出水が少なかったためか、藍藻綱のビロウドランソウ(*Homoeothrix janthina*)が確認されなかった。珪藻綱のコメツブケイソウ属(*Cocconeis placentula*)が比較的多く出現したのは、源流で日陰が多い環境を反映したものと考えられる。

・滄浪泉園

滄浪泉園では6月16種類、12月19種類、合計23種類が確認された。

優占種1位は例年と同じく、紅藻綱のカワモズク科のシャントランシア期で、湧水が安定した流量で流れる環境を反映したものと考えられる。優占種2位は6月が珪藻綱のツメケイソウ属(*Achnanthes rupestoides*)で、12月は注目種の紅藻綱のタンスイベニマダラ(*Riverina jigongshanensis*)であった。優占種3位は6月がフタスジツメワカレケイソウ属(*Planothidium frequentissimum*)で、12月は珪藻綱のツメケイソウ属(*Achnanthes rupestoides*)であった。これらの種はいずれもきれいな水質に出現する種で、本地点の水質の良さを示すものと考えられる。清水性の種が出現した一方で、汚濁耐性がある珪藻綱のフネケイソウ属の(*Navicula minima*)や、ツメワカレケイソウ属(*Achnanthidium exiguum*)も出現しており、他の地点に較べて湧水に含まれる栄養塩がやや多い可能性もあるが、採集地点が池にかかっていることが影響したものと考えられる。

・中町四丁目公共緑地

中町四丁目公共緑地では6月11種類、12月11種類、合計13種類が確認された。

優占種1位は、紅藻綱のカワモズク科のシャントランシア期で、湧水が安定した流量で流れる環境を反映したものと考えられる。優占種2位は6月が珪藻綱のプラテッサ属(*Platessa oblongella*)であった。これらの種はいずれもきれいな水質に出現する種で、本地点の水質の良さを示すものと考えられる。6月と12月のいずれも総細胞数が、貫井神社および滄浪泉園よりも少なかった。これは、これら2地点に較べてやや水深が浅かったためと考えられる。これは好気性の珪藻綱のプラテッサ属(*Platessa oblongella*)が優占して出現していたことから明らかである。

・美術の森緑地

美術の森緑地では6月17種類、12月17種類、合計21種類が確認された。

優占種1位～3位は、6月と12月で順位の入替わりがあるものの、注目種の紅藻綱のタンスイベニマダラ(*Riverina jigongshanensis*)、カワモズク科のシャントランシア期、珪藻綱のコメツブケイソウ属(*Cocconeis placentula*)の3種類であった。これらの種はいずれもきれいな水質に出現する種で、本地点の水質の良さを示すものと考えられる。12月の総細胞数が、貫井神社および滄浪泉園に較べて少ないが、これは日陰で流速の遅い環境が影響した可能性が考えられる。

1) 注目種・外来種

注目種の選定基準を表 2-22 に、外来種の選定基準を表 2-23 に、選定された注目種を表 2-24 に示す。

令和 7 年度調査により、環境省レッドリストおよび東京都レッドリストの準絶滅危惧種（NT）に該当するタンスイベニマダラ (*Riverina jigongshanensis*) が確認された。

外来種に該当する種は確認されなかった。

表 2-21 注目種の選定基準

選 定 基 準	
①	「第5次レッドリスト(植物・菌類)」(2025、環境省) 絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧ⅠA類(CR)、絶滅危惧ⅠB類(EN)、絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)
②	「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部) 東京都レッドリスト(本土部、北多摩) 2020年版(2021、東京都環境局)」 絶滅危惧ⅠA類(CR)、絶滅危惧ⅠB類(EN)、絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)

表 2-22 外来種の選定基準

選 定 基 準	
①	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004.法律78)における、特定外来、未判定外来生物、種類名証明の添付が必要な生物及び要注意外来生物

表 2-23 注目種一覧

No.	綱名	種名	選定基準	
			①	②
1	紅藻綱	タンスイベニマダラ <i>Riverina jigongshanensis</i>	NT	NT
合計 1綱 1種			1	1

資料編

調査地点位置図

井戸水調査	資-1
野川調査	資-2
湧水調査	資-3

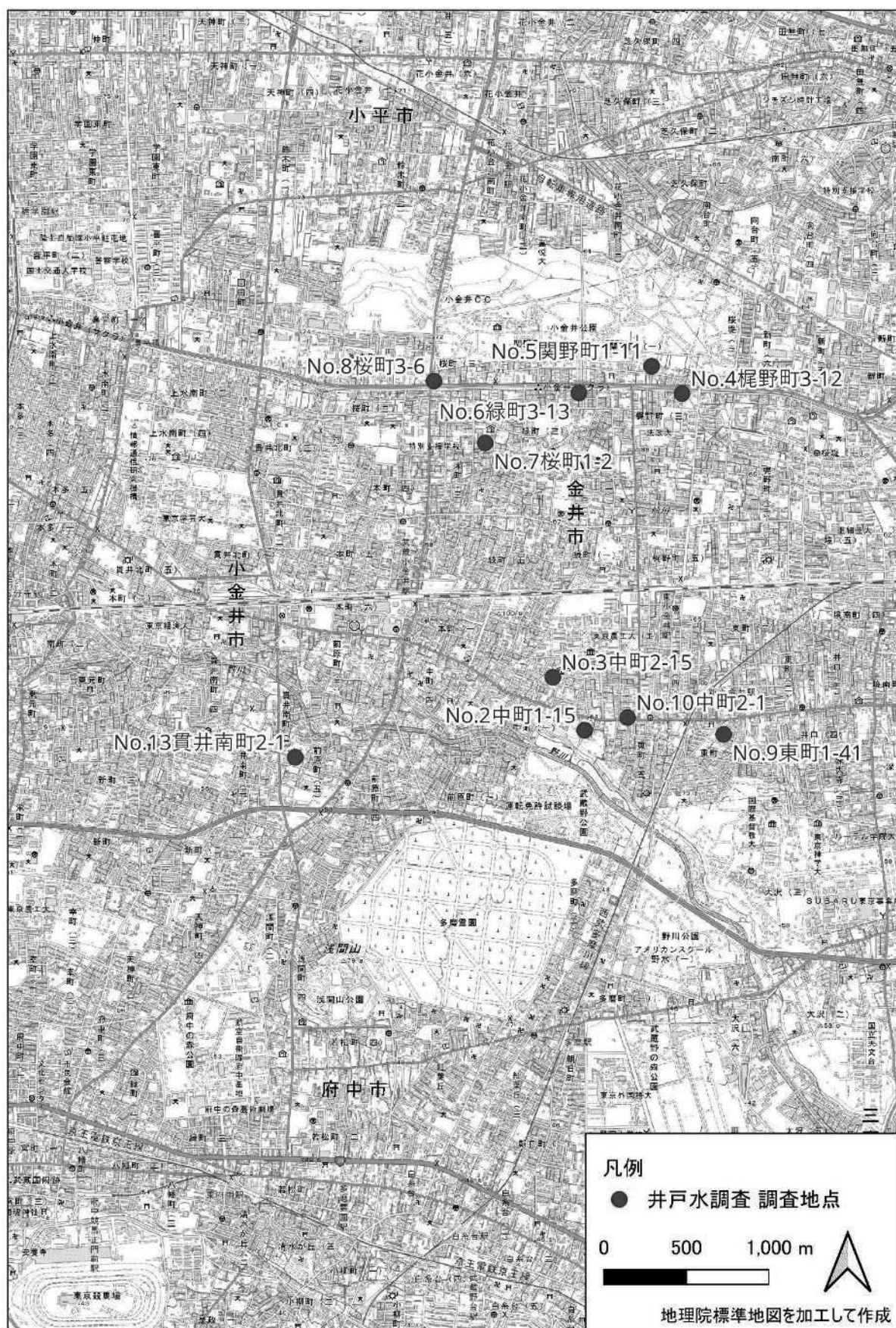
調査状況写真

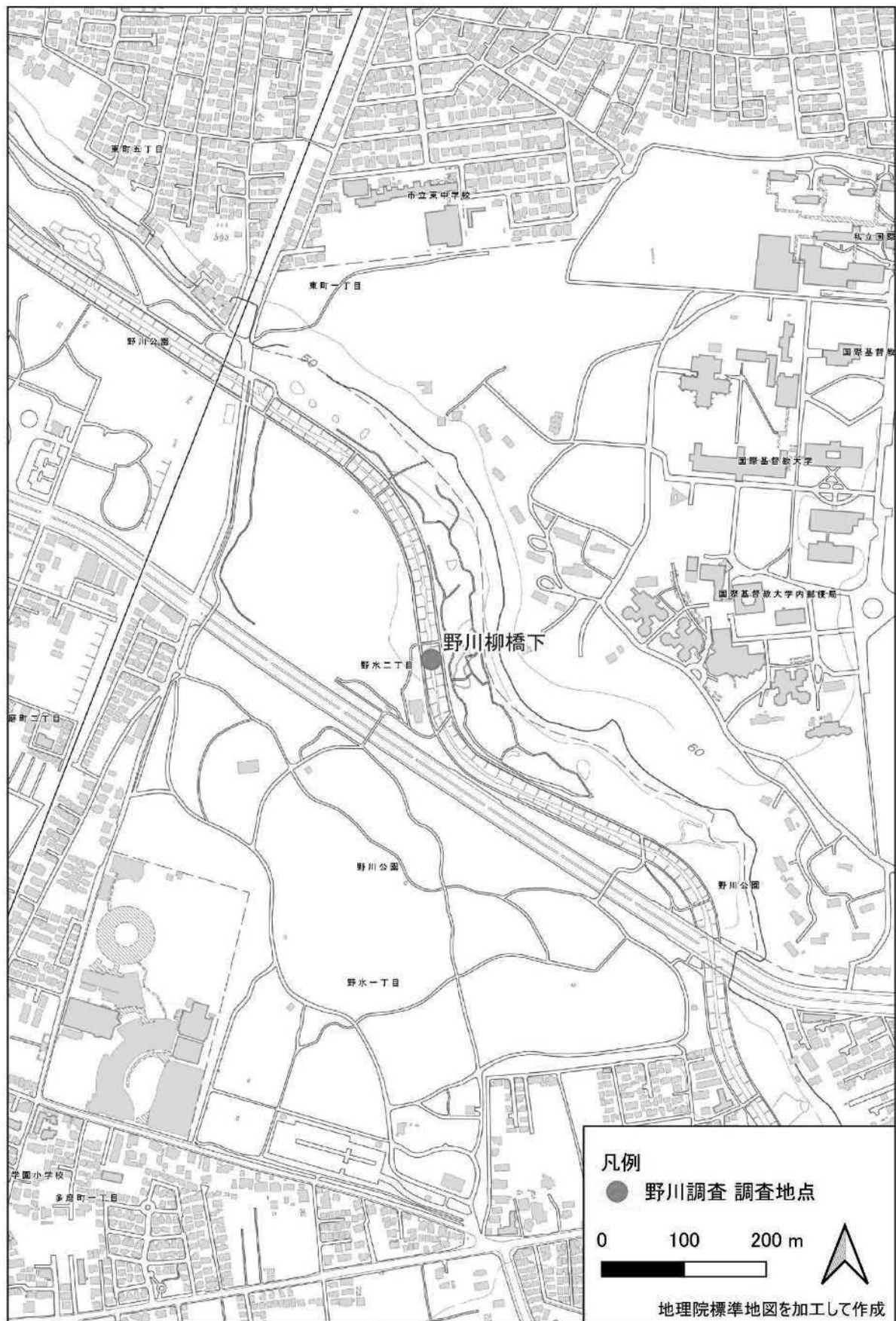
野川調査	資-4
湧水調査	資-6

※井戸水調査は主に個人宅で行っているため、調査状況写真は掲載しない。

注目種写真

確認された注目種	資-22
----------------	------





資-2



資-3

	第1回 野川調査 令和7年6月5日 調査地点状況
	第1回 野川調査 令和7年6月5日 採水作業
	第1回 野川調査 令和7年6月5日 流量調査
	第1回 野川調査 令和7年6月5日 水質調査分析試料

	第2回 野川調査 令和7年11月6日 調査地点状況
	第2回野川調査 令和7年11月6日 採水作業
	第2回野川調査 令和7年11月6日 流量調査
	第2回野川調査 令和7年11月6日 水質調査分析試料

	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 貫井神社 遠景
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 貫井神社 近景
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 貫井神社 採水作業
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 貫井神社 流量調査

	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 貫井神社 底生生物採取
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 貫井神社 付着藻類採取
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 貫井神社 水質調査分析試料
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 貫井神社 底生生物・付着藻類分析試料

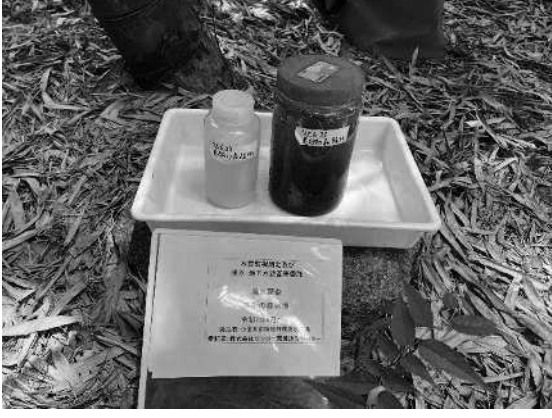
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 滄浪泉園 遠景
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 滄浪泉園 近景
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 滄浪泉園 採水作業
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 滄浪泉園 流量調査

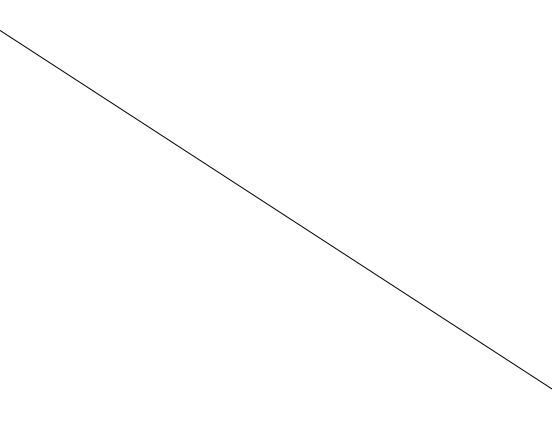
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 滄浪泉園 底生生物採取
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 滄浪泉園 付着藻類採取
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 滄浪泉園 水質調査分析試料
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 滄浪泉園 底生生物・付着藻類分析試料

	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 中町四丁目公共緑地 遠景
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 中町四丁目公共緑地 近景
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 中町四丁目公共緑地 採水作業
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 中町四丁目公共緑地 流量調査

	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 中町四丁目公共緑地 底生生物採取
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 中町四丁目公共緑地 付着藻類採取
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 中町四丁目公共緑地 水質調査分析試料
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 中町四丁目公共緑地 底生生物・付着藻類分析試料

	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 美術の森 遠景
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 美術の森 近景
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 美術の森 採水作業
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 美術の森 流量調査

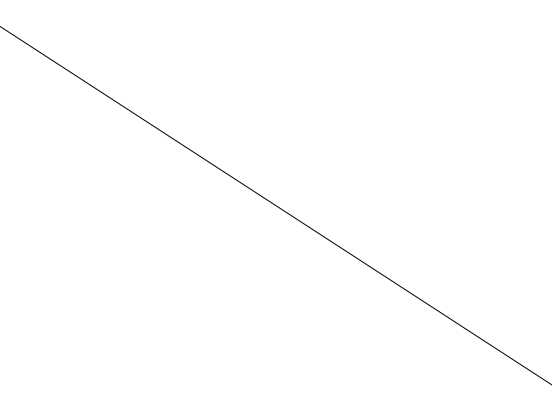
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 美術の森 底生生物採取
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 美術の森 付着藻類採取
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 美術の森 水質調査分析試料
	第1回 湧水調査 令和7年6月23日 美術の森 底生生物・付着藻類分析試料

	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 貫井神社 遠景
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 貫井神社 近景
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 貫井神社 採水作業
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 貫井神社 流量調査

	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 貫井神社 底生生物採取
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 貫井神社 付着藻類採取
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 貫井神社 水質調査分析試料
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 貫井神社 底生生物・付着藻類分析試料

	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 滄浪泉園 遠景
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 滄浪泉園 近景
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 滄浪泉園 採水作業
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 滄浪泉園 流量調査

	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 滄浪泉園 底生生物採取
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 滄浪泉園 付着藻類採取
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 滄浪泉園 水質調査分析試料
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 滄浪泉園 底生生物・付着藻類分析試料

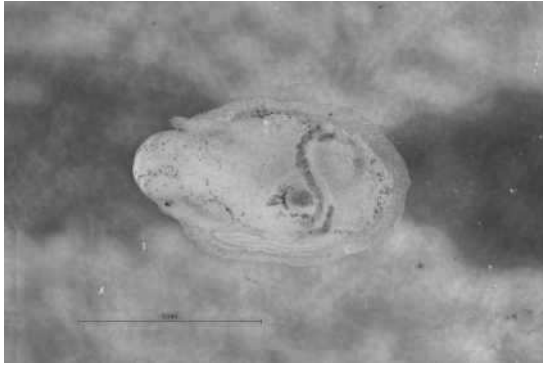
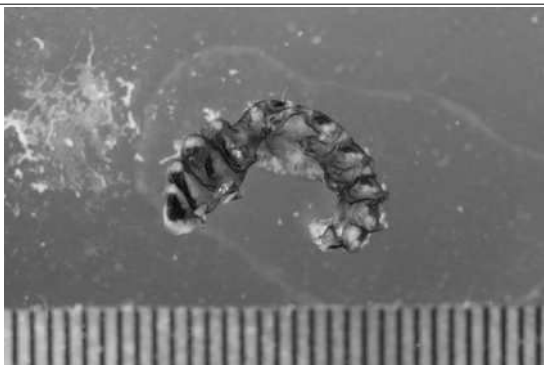
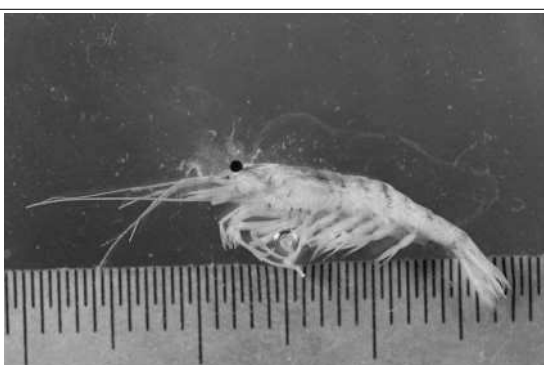
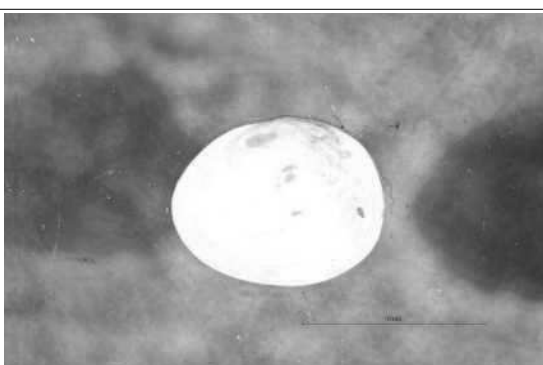
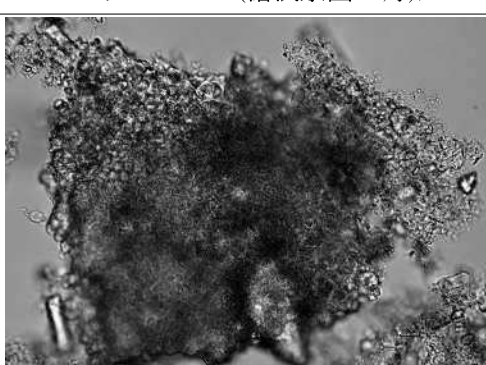
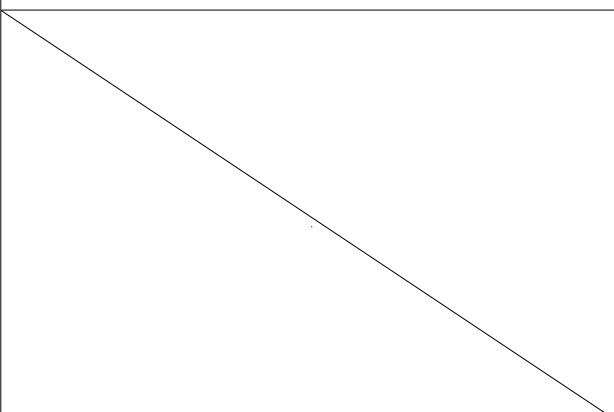
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 中町四丁目公共緑地 遠景
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 中町四丁目公共緑地 近景
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 中町四丁目公共緑地 採水作業
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 中町四丁目公共緑地 流量調査

	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 中町四丁目公共緑地 底生生物採取
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 中町四丁目公共緑地 付着藻類採取
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 中町四丁目公共緑地 水質調査分析試料
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 中町四丁目公共緑地 底生生物・付着藻類分析試料

	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 美術の森 遠景
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 美術の森 近景
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 美術の森 採水作業
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 美術の森 流量調査

	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 美術の森 底生生物採取
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 美術の森 付着藻類採取
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 美術の森 水質調査分析試料
	第2回 湧水調査 令和7年12月15日 美術の森 底生生物・付着藻類分析試料

確認された注目種

 アメリカザリガニ(滄浪泉園 12 月)	 カワコザラガイ属(貫井神社 12 月)
 ゲンジボタル(美術の森 6 月)	 サワガニ(美術の森 12 月)
 シナヌマエビ(滄浪泉園 6 月)	 マメシジミ属(滄浪泉園 12 月)
 タンスイベニマダラ(貫井神社 12 月)	

水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託
地下水位測定

報 告 書

令和 7 年度版
小 金 井 市

目次

1. 業務概要.....	1
1.1. 業務件名.....	1
1.2. 契約番号.....	1
1.3. 業務目的.....	1
1.4. 調査場所.....	1
2. 調査内容.....	2
2.1. 水位測定方法	2
2.2. 調査位置図.....	3
3. 調査結果.....	4
3.1. 調査日	4
3.2. 地下水位測定結果.....	4
3.3. 地下水位変動係数.....	7
4. 過年度調査結果.....	10
5. 喝水状況に関して	10

1. 業務概要

1.1. 業務件名

水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託 地下水位測定

1.2. 契約番号

7 第 1257-0 号

1.3. 業務目的

個人宅、公園及び学校などの公共施設内の井戸について、地下水位の状況を把握する事を目的とした。

1.4. 調査場所

小金井市内井戸 8 か所。

No.1、No.2 は別途実施の水質調査地点も兼ねている。

表 1-1 調査場所

No.	測定地点	住所	井戸水調査No.
1	個人宅	東町1	9
2	個人宅	緑町1	11
4	はけの森緑地2	中町4-12	－
5	前原やなぎ公園	前原町1-12	－
6	緑中央通り	本町1-14	－
7	特別支援学校	桜町2-1	－
9	個人宅	貫井北町3	－
11	かきの木公園	貫井南町2-3	－

2. 調査内容

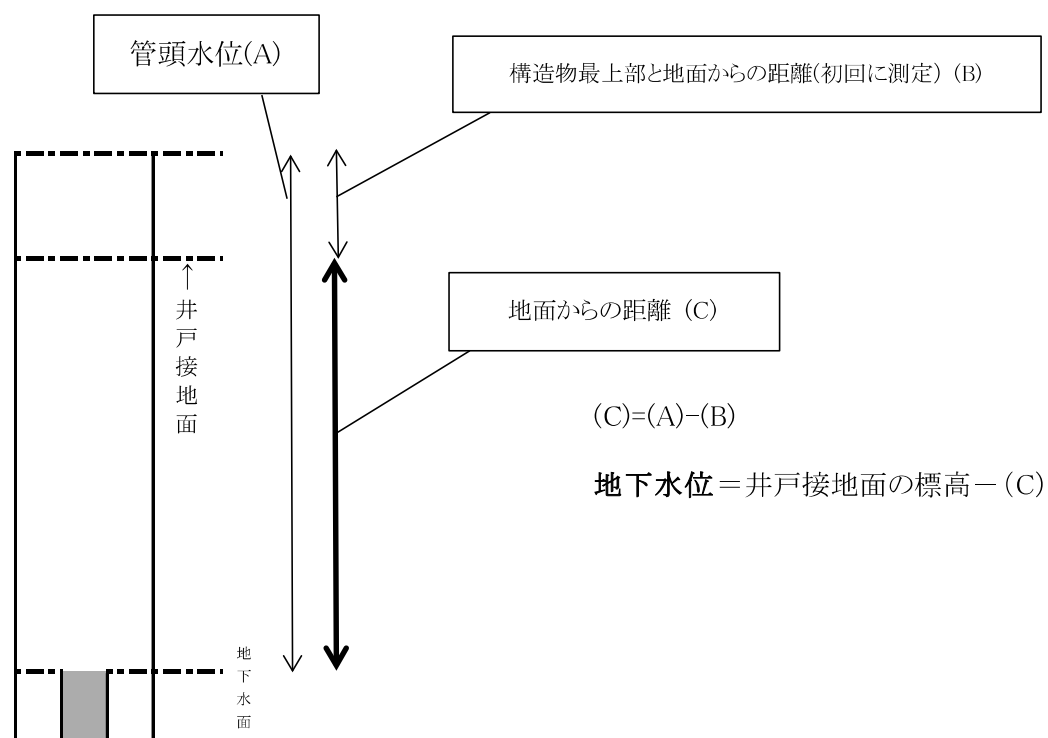
2.1. 水位測定方法

管頭水位：現場で測定する、井戸構造物最上部(管頭) から水面までの距離(m)…(A)

井戸接地面の標高：国土地理院Webサイトを参照。海水面 (T.P.) からの高さ (m)

地面からの距離：計算式(C)

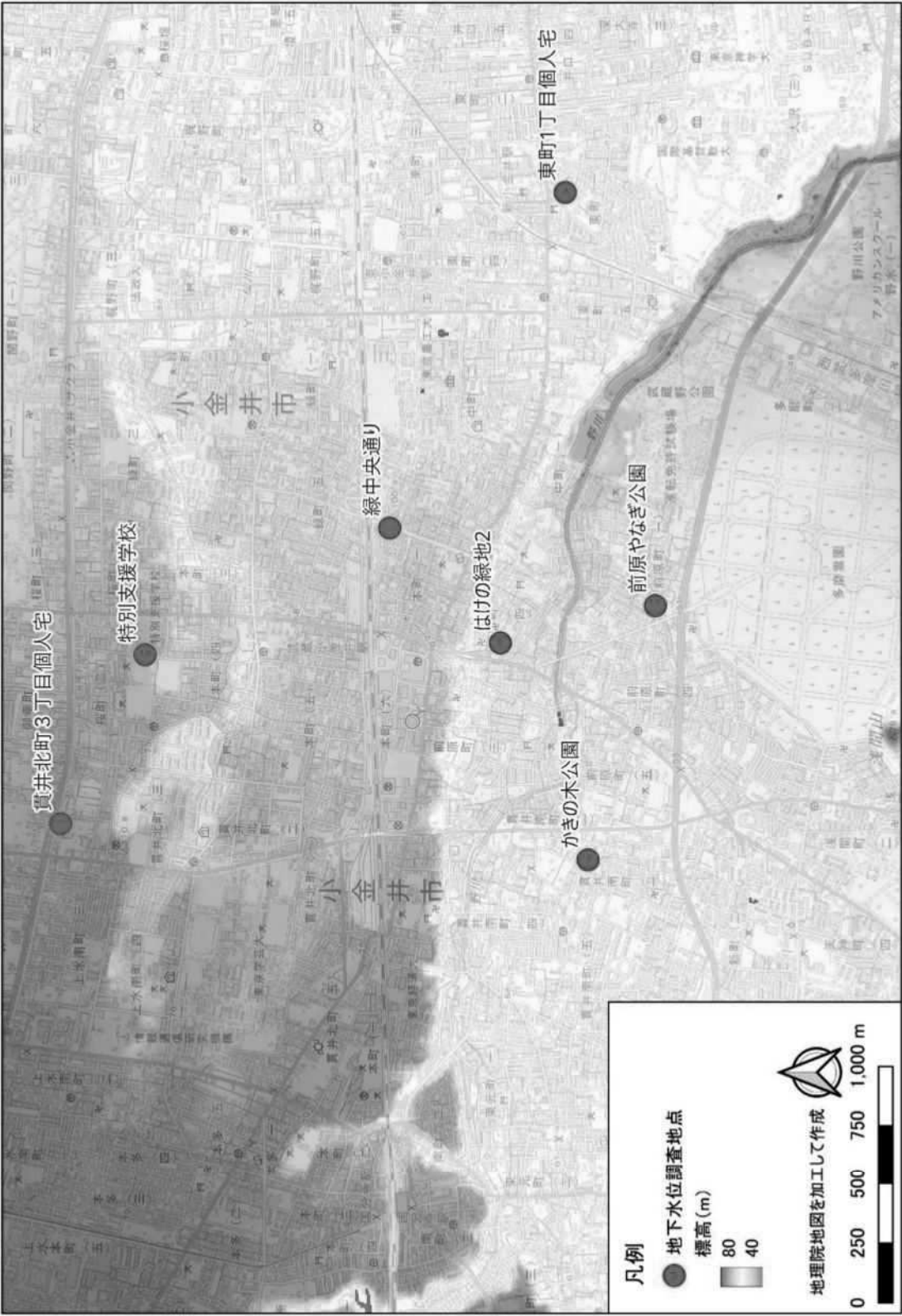
地下水位：本報告書に掲載する値 (m)



標高参照元：国土地理院 GSI Maps

<http://maps.gsi.go.jp/#14/35.697979/139.512291/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0>

2.2. 調査位置図



3. 調査結果

3.1. 調査日

令和7年度の調査日及び主な気象イベントを以下に示す。

調査日	主な気象イベント
2025年4月25日	梅雨入り：5月22日頃 梅雨明け：6月28日頃 台風5号：7月14日頃 台風9号：8月2日頃 台風10号：8月3日頃 台風15号9月5日頃 台風22号：10月9日頃 台風23号：10月13日頃 気象庁発表の関東地方および 甲信地方に接近した台風を対象とした
2025年5月29日	
2025年6月23日	
2025年7月29日	
2025年8月22日	
2025年9月24日	
2025年10月27日	
2025年11月25日	
2025年12月23日	
2026年1月28日	
2026年2月25日	
2026年3月23日	

3.2. 地下水位測定結果

令和7年度の地下水位測定結果を表3-1及び図3-1に示す。

地下水位と降水量については、過年度と同様に同調する傾向が見られた。

表 3-1 令和7年度 各地点の地下水位 (T.P.)、月間降水量															水位単位 (m)	
測定点 (地面の標高の高い順)			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	標高 (m)	
はげ上	9	個人宅 貫井北町3	59.04	59.03	60.01	60.38	60.16	60.31	59.86	59.31	-	-	-	-	74.5	
	7	特別支援学校	58.24	58.31	58.71	59.06	58.95	59.13	58.76	58.41	58.06	58.00	57.97	58.08	71.7	
	6	緑中央通り	54.40	54.55	54.62	54.57	54.35	54.80	54.35	54.20	53.90	53.65	53.45	53.52	67.0	
	2	個人宅 緑町1	51.28	51.52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	65.3	
	1	個人宅 東町1	49.62	49.79	49.92	49.89	49.70	50.06	49.78	49.64	49.40	49.14	-	48.77	62.5	
はげ下	11	かきの木公園	46.45	46.67	46.86	46.67	46.30	46.28	46.05	45.94	45.80	45.61	45.45	45.50	54.9	
	4	はげの森緑地2	45.39	45.57	45.72	45.58	45.31	45.38	44.78	44.51	44.04	43.64	43.40	43.50	51.2	
	5	前原やなぎ公園	44.08	44.17	44.22	44.14	43.95	43.99	43.59	43.44	43.05	42.78	42.53	42.60	50.9	
月間降水量(mm)			146.0	206.0	122.0	57.5	42.0	189.0	103.0	7.5	33.0	0.5	36.5	60.0		

表中、■ は最高水位及び、最多降水量

■ は最低水位及び、最小降水量

降水量は気象庁府中観測所の測定値を参照し、月間降水量を記載 (3月のみ地下水位測定日までの月間雨量)

台風5号7月14日前後

台風9号8月2日前後

台風10号8月3日前後

台風15号9月5日前後

台風22号10月9日前後

台風23号10月13日前後

(気象庁発表の関東地方および甲信地方に接近した台風を対象とした)

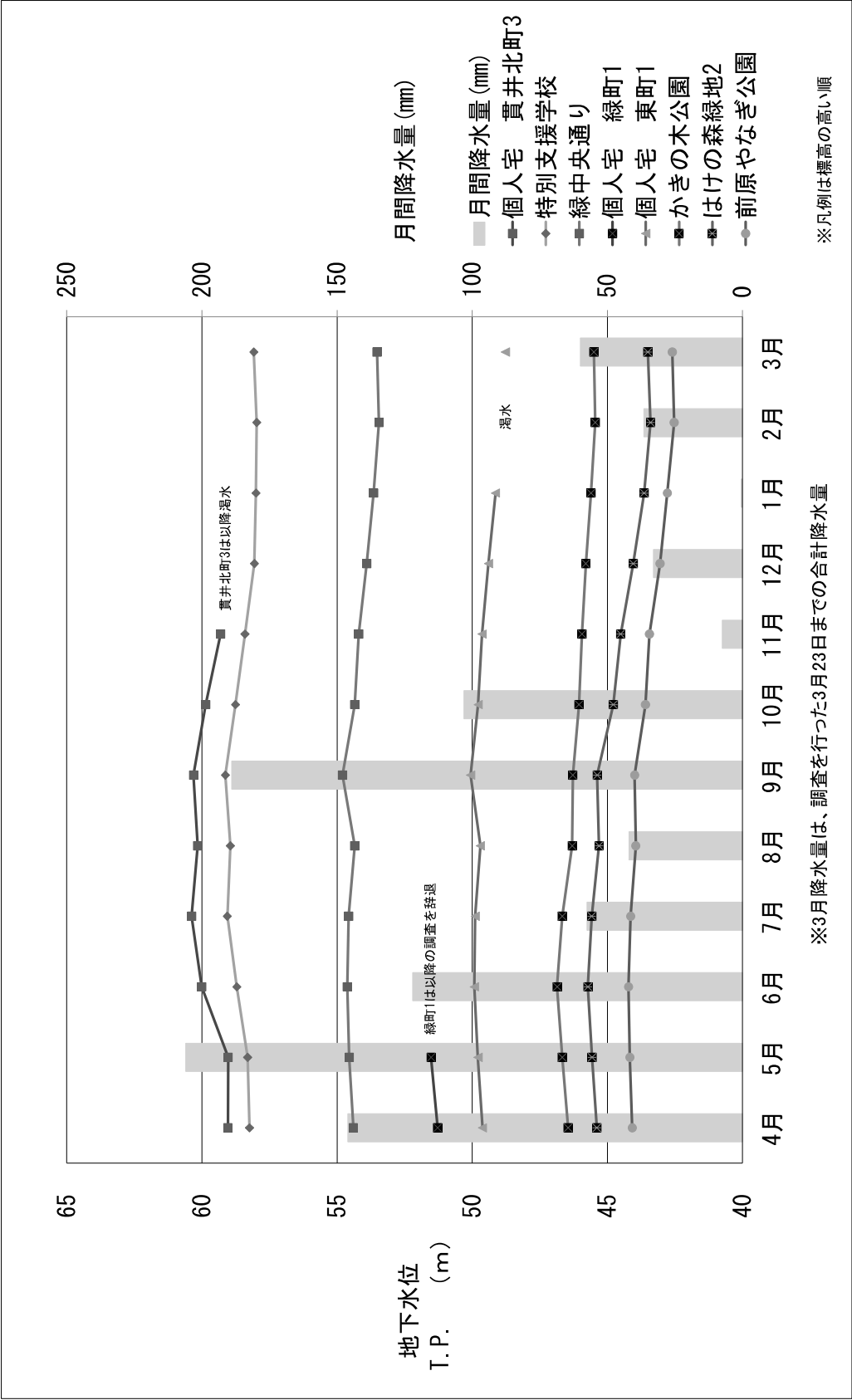


図 3-1 令和 7 年度地下水位の変動

3.3. 地下水位変動係数

令和 7 年度の変動係数を表 3-2 に示す。

表 3-2 より、年間を通じて最も変動幅が大きかったのは、「はけの森緑地 2」であった。逆に最も変動幅が小さかった地点は「個人宅 緑町 1」であったが、これは同地点の年間測定回数が 2 回であったためであり、次いで変動幅が小さかった地点は「特別支援学校」であった。

「標準偏差÷平均値」である変動係数は、基準となる平均水位が各地点で異なるため、より正確に水位変動を比較するために導入した。

変動係数が大きい＝水位変動が大きいといえる。また、4 月から 10 月までの降水量が比較的多い期間を降雨期、降水量の少ない 11 月から 3 月までを渇水期として季節による変動係数の比較を行った。

令和 7 年度は、年間を通しての水位の変動係数は標高が低い地点が高い値を示し、標高の低い地点が低い値を示す傾向であった。

また、図 3-2 及び 3-3 より、「はけ上」調査地手は降雨期と渇水期で逆の変動傾向を示したのに対して、「はけ下」は降雨期に変動係数が大きい地点は、渇水期においても変動係数が大きくなる傾向が見られ、過年度と異なった傾向を示した。

令和 7 年度は特異な渇水傾向を示しており、水位の変動傾向にも大きな影響を与えているものと考えられる。

備考：相関係数と変動係数について

相関係数 r ：以下の式であらわされる、2 変数（X：降雨期変動係数、Y：渇水期変動係数）の間に、どの程度相関関係があるかを示す数値。一般に 0.7 以上で強い相関関係にあるとされる。

$$r = \frac{\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (X_i - \bar{X})(Y_i - \bar{Y})}{\sqrt{\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (X_i - \bar{X})^2} \sqrt{\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (Y_i - \bar{Y})^2}}$$

X_i : 地点毎の降雨期変動係数

$\bar{X}$: 全地点での降雨期変動係数の平均

Y_i : 地点毎の渇水期変動係数

$\bar{Y}$: 全地点での渇水期変動係数の平均

N: サンプル数、(N=8)

R2 値：相関図中の R2 の値は、相関係数 r の 2 乗値である。点線で示す回帰直線からのばらつきの程度を表し、1 に近づくほどばらつきが小さいといえる。この値が 1 より小さいとき、回帰直線から外れるものがあるといえる。

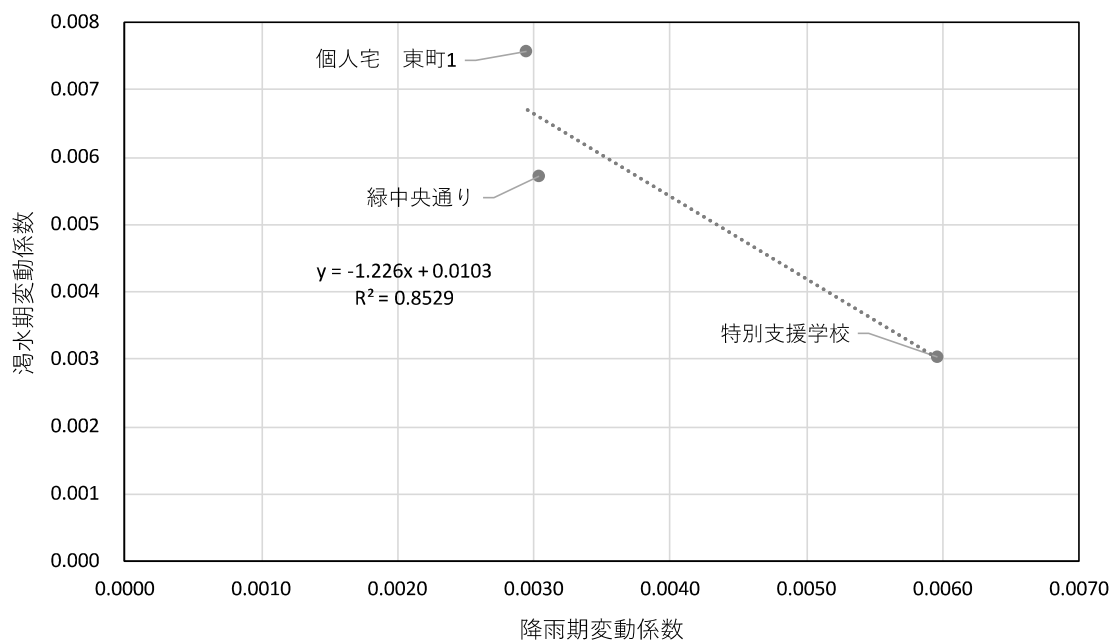
たとえば回帰直線の上に外れた場合、水位が上昇しにくい割には低下しやすい傾向がある、などといえる。

表 3-2 令和 7 年度 地下水位の変動係数

測定点(地面の標高の高い順)		水位平均(m)	最高水位 (m)	最低水位 (m)	年間変動幅 (m)	年間の標準偏差 (m)	年間の変動係数
はげ上	9 個人宅 貫井北町3	59.76	60.38	59.03	1.35	0.56	0.01
	7 特別支援学校	58.47	59.13	57.97	1.16	0.43	0.01
	6 緑中央通り	54.20	54.80	53.45	1.35	0.46	0.01
	2 個人宅 緑町1	51.40	51.52	51.28	0.24	0.17	0.00
	1 個人宅 東町1	49.61	50.06	48.77	1.29	0.38	0.01
はげ下	11 かきの木公園	46.13	46.86	45.45	1.41	0.48	0.01
	4 はげの森緑地2	44.74	45.72	43.40	2.32	0.88	0.02
	5 前原やなぎ公園	43.55	44.22	42.53	1.69	0.65	0.01

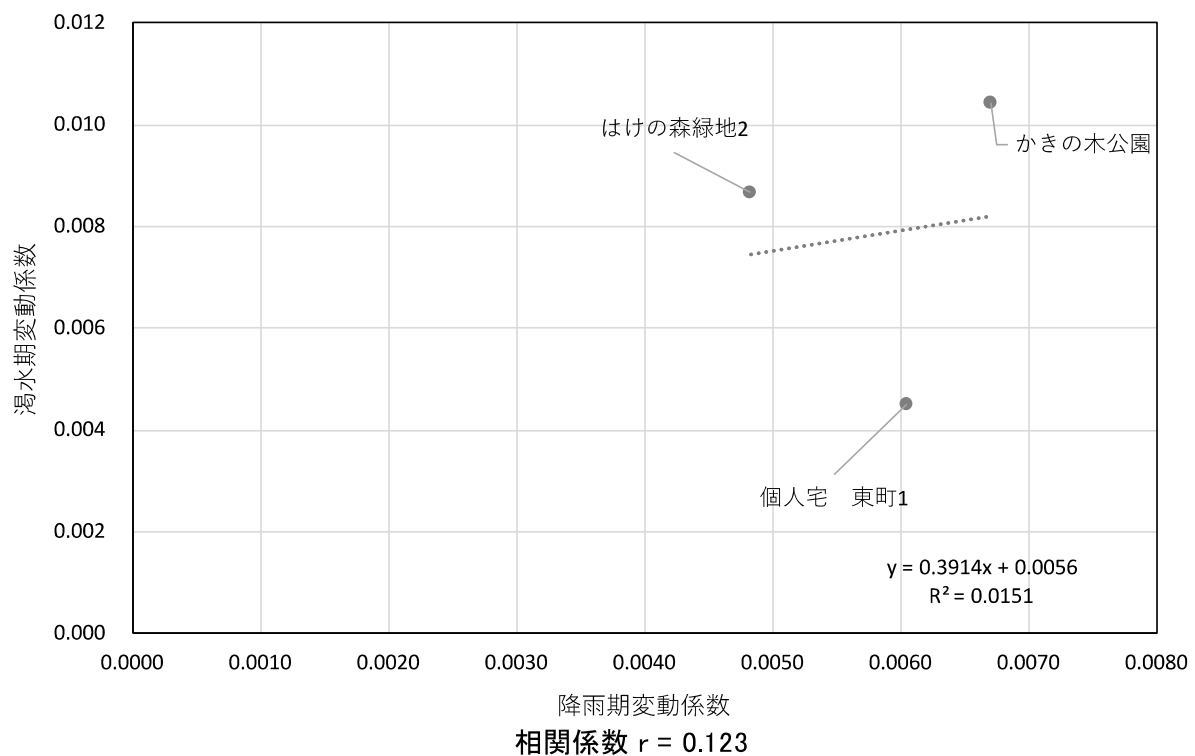
測定点(地面の標高の高い順)		変動係数平均 4～10月	水位の変動係数 4～10月	変動係数平均 11～3月	水位の変動係数 11～3月	水位の標準偏差 (m) 4～10月	水位の標準偏差 (m) 11～3月
はげ上	9 個人宅 貫井北町3	0.0049	0.0095	0.0054	-	0.5685	-
	7 特別支援学校		0.0060		0.0030	0.3499	0.1767
	6 緑中央通り		0.0030		0.0057	0.1653	0.3073
	2 個人宅 緑町1		0.0033		-	0.1697	-
	1 個人宅 東町1		0.0029		0.0076	0.1468	0.3726
はげ下	11 かきの木公園	0.0059	0.0060	0.0079	0.0045	0.2810	0.2063
	4 はげの森緑地2		0.0067		0.0104	0.3044	0.4571
	5 前原やなぎ公園		0.0048		0.0087	0.2126	0.3720
降水量変動係数		0.50	1.15				
平均降水量(mm)		123.64					

表中、■ は最大値、■ は最低値
はげ上の変動係数平均11～3月の算出においては、欠測井戸を除外している。



相関係数 $r = -0.924$ ※算出においては欠測井戸は除いた

図 3-2 令和 7 年度 降雨期、干水期の変動係数相関図（はけ上）



相関係数 $r = 0.123$

図 3-3 令和 7 年度 降雨期、干水期の変動係数相関図（はけ下）

4. 過年度調査結果

以降に令和6年度及び令和5年度調査結果を示す。

また、参考として令和元年以降の水位データを元にした、年間水位変動傾向を表5及び図5,6に示す。

表 4-1 令和6年度 各地点の地下水位 (T.P.)、月間降水量

測定点 (地面の標高の高い順)		水位単位 (m)												3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	標高 (m)
はけ上	10	個人宅 貫井北町5	62.17	63.85	64.45	64.75	65.62	65.10	-	-	59.68	58.90	-	75.3												
	9	個人宅 貫井北町3	59.06	60.81	62.06	62.65	63.59	63.02	62.20	61.06	59.68	58.90	-	74.5												
	7	特別支援学校	58.28	59.41	60.27	60.78	61.53	61.03	60.45	59.67	57.96	58.05	58.26	71.7												
	6	緑中央通り	54.46	55.72	55.75	55.97	56.28	55.90	55.35	54.81	54.40	53.93	54.09	67.0												
はけ下	2	個人宅 緑町1	51.46	52.42	52.77	53.17	53.94	53.20	52.78	52.31	51.80	51.16	51.05	65.3												
	1	個人宅 東町1	49.77	49.87	50.50	50.75	51.02	51.10	50.72	50.33	49.89	49.44	49.40	62.5												
	11	かきの木公園	46.45	46.62	47.37	47.86	48.05	49.68	49.65	49.45	48.85	46.83	46.40	54.9												
	4	はけの森緑地2	45.16	45.50	46.62	46.82	46.93	47.48	47.32	47.15	46.77	46.32	45.82	45.44	51.2											
	5	前原やなぎ公園	43.82	44.05	44.68	44.71	44.79	45.05	44.98	44.75	44.53	44.16	44.13	50.9												
	月間降水量 (mm)		97.5	164.0	283.5	156.0	436.5	37.5	172.5	86.0	0.0	29.5	6.5	119.5												

表中、
■は最高水位及び、最多降水量
■は最低水位及び、最小降水量
降水量は気象庁府中観測所の測定値を参照し、月間降水量を記載（3月のみ地下水位測定日までの月間雨量）
台風7号8月16日前後
台風10号8月30日前後
台風17号10月1日前後
（気象庁発表の関東地方および甲信地方に接近した台風を対象とした）

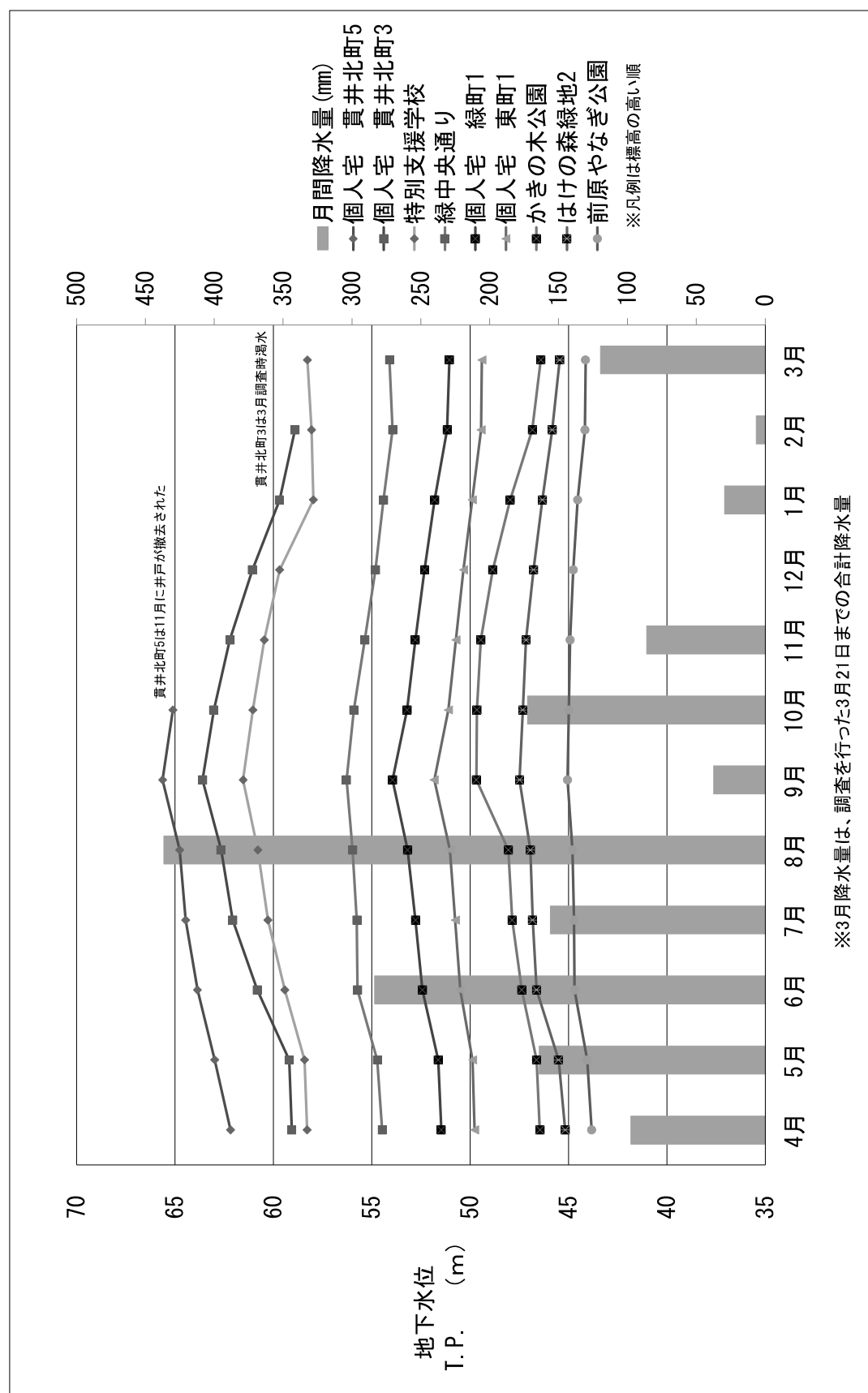


図 4-1 令和 6 年度地下水水位の変動

表 4-2 令和 6 年度 地下水位の変動係数

測定点 (地面の標高の高い順)		水位平均 (m)	最高水位 (m)	最低水位 (m)	年間変動幅 (m)	年間の標準偏差 (m)	年間の変動係数
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	64.13	65.62	62.17	3.45	1.22	0.02
	9 個人宅 貫井北町3	61.11	63.59	58.90	4.69	1.71	0.03
	7 特別支援学校	59.51	61.53	57.96	3.57	1.29	0.02
	6 緑中央通り	55.11	56.28	53.93	2.35	0.81	0.01
	2 個人宅 緑町1	52.31	53.94	51.05	2.89	0.90	0.02
	1 個人宅 東町1	50.38	51.82	49.40	2.42	0.74	0.01
はけ下	11 かきの木公園	47.93	49.68	46.40	3.28	1.24	0.03
	4 はけの森緑地2	46.44	47.48	45.16	2.32	0.79	0.02
	5 前原やなぎ公園	44.55	45.05	43.82	1.23	0.41	0.01

測定点 (地面の標高の高い順)		変動係数平均 4～10月	水位の変動係数 4～10月	変動係数平均 11～3月	水位の変動係数 11～3月	水位の標準偏差 (m) 4～10月	水位の標準偏差 (m) 11～3月
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	0.0189	0.0190	0.0159		1.2188	
	9 個人宅 貫井北町3		0.0298			1.8293	
	7 特別支援学校		0.0214			1.2849	
	6 緑中央通り		0.0123			0.6824	
	2 個人宅 緑町1		0.0170			0.8927	
	1 個人宅 東町1		0.0142			0.7202	
はけ下	11 かきの木公園	0.0189	0.0273	0.0166	0.0270	1.3074	1.2946
	4 はけの森緑地2		0.0190		0.0149	0.8864	0.6917
	5 前原やなぎ公園		0.0105		0.0078	0.4673	0.3478
	降水量変動係数						
平均降水量 (mm)		192.50	0.78				

表中、■は最大値、■は最低値
はけ上の変動係数平均11～3月の算出においては、11月に井戸が撤去された貫井町5を除外している。

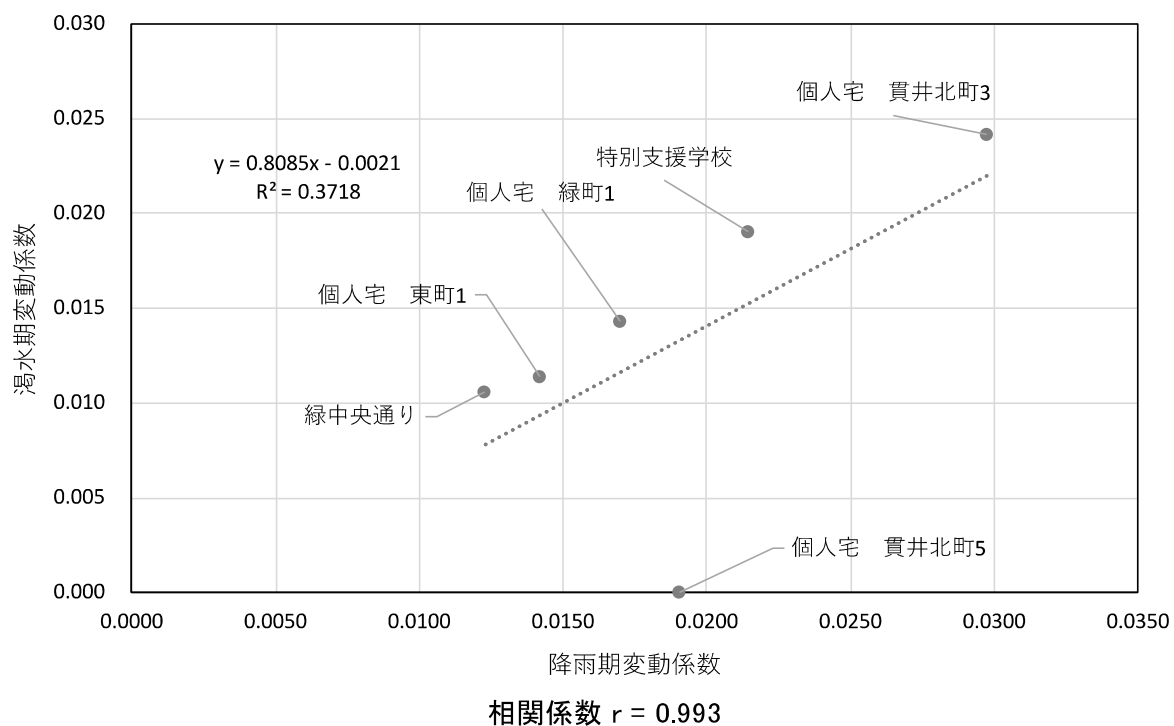


図 4-2 令和 6 年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はけ上）

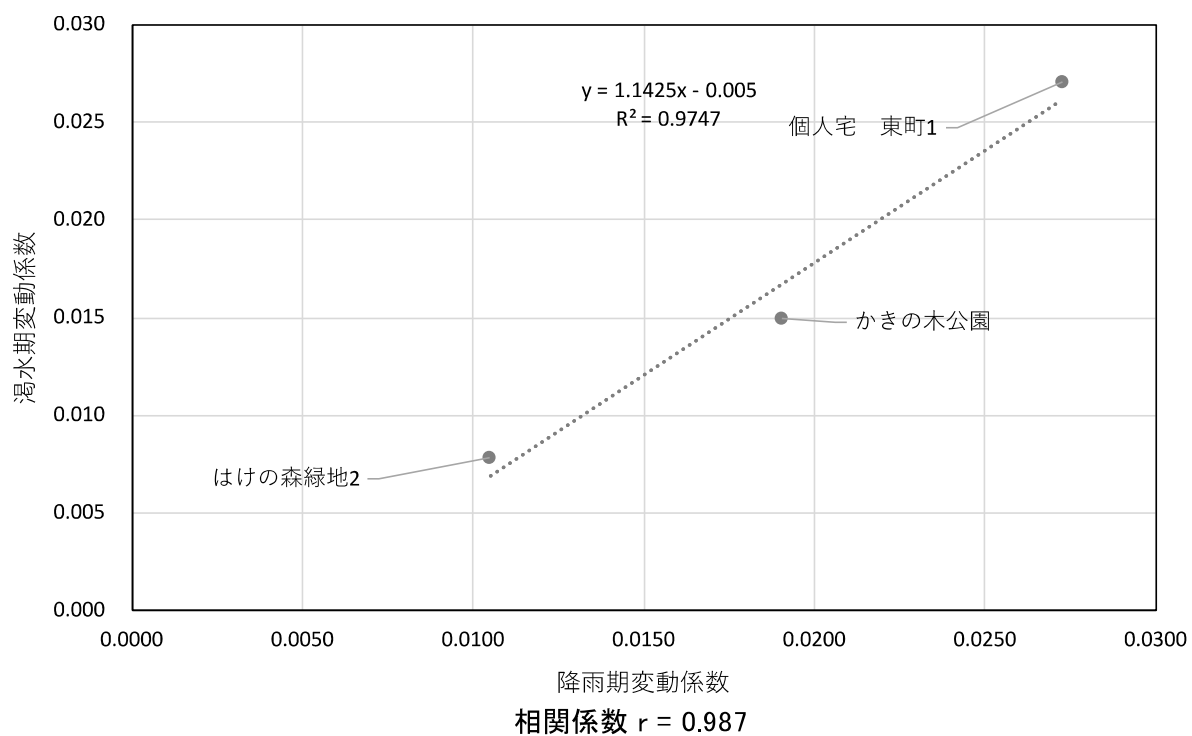


図 4-3 令和 6 年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はけ下）

表 4-3 令和 5 年度 各地点の地下水位 (T.P.)、月間降水量

測定点 (地面の標高の高い順)		水位単位 (m)												標高 (m)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
はげ上	10 個人宅 貫井北町5	61.15	61.39	63.70	64.10	63.74	63.55	63.65	63.33	62.68	61.84	61.18	61.20	75.3
	9 個人宅 貫井北町3	59.01	59.02	60.45	61.23	60.93	60.86	60.89	60.33	59.41	60.01	58.96	59.51	74.5
	7 特別支援学校	58.16	58.22	58.96	59.60	59.50	59.55	59.55	59.12	58.52	58.10	58.15	58.21	71.7
	6 緑中央通り	53.90	54.16	55.65	54.68	54.68	55.35	55.27	54.64	54.27	53.89	53.70	54.03	67.0
	2 個人宅 緑町1	50.36	50.94	52.56	52.00	52.01	52.43	52.42	51.94	51.59	51.15	50.79	50.92	65.3
	1 個人宅 東町1	49.30	49.39	50.75	50.19	50.05	50.38	50.45	50.02	49.73	49.43	49.21	49.33	62.5
はげ下	11 かきの木公園	46.00	46.09	48.01	47.44	48.24	46.15	47.06	48.04	46.12	47.19	45.73	45.96	54.9
	4 はげの森緑地2	44.45	44.44	46.80	46.15	45.78	46.20	45.98	45.41	44.84	44.20	43.87	44.19	51.2
	5 前原やなぎ公園	43.47	43.47	45.04	44.45	42.86	44.44	44.41	42.54	43.67	41.83	42.95	43.17	50.9
月間降水量 (mm)		57.0	123.5	342.0	18.5	150.0	225.0	107.0	62.5	14.5	39.0	70.0	38.0	

表中、
 は最高水位及び、最多降水量
 は最低水位及び、最小降水量
 降水量は気象庁府中観測所の測定値を参照し、月間降水量を記載（3月のみ地下水位測定日までの月間雨量）
 台風 7号 8月14日前後
 台風13号 9月 8日前後
 （気象庁発表の関東地方および甲信地方に接近した台風を対象とした）

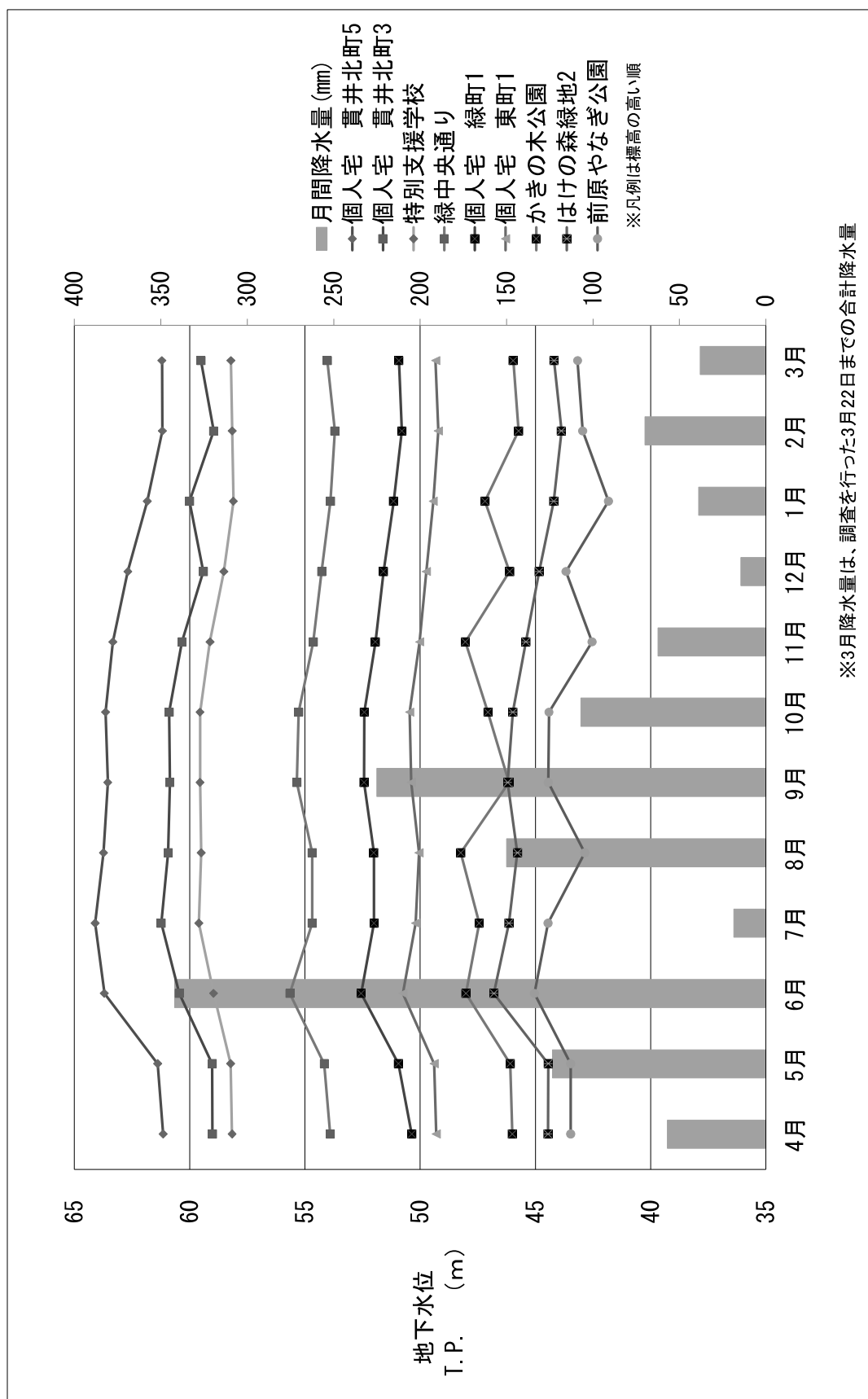


図 4-4 令和 5 年度地下水位の変動

表 4-4 令和 5 年度 地下水位の変動係数

測定点(地面の標高の高い順)		水位平均 (m)	最高水位 (m)	最低水位 (m)	年間変動幅 (m)	年間の標準偏差 (m)	年間の変動係数
はげ上	10 個人宅 貫井北町5	62.63	64.10	61.15	2.95	1.18	0.02
	9 個人宅 貫井北町3	60.05	61.23	58.96	2.27	0.84	0.01
	7 特別支援学校	58.80	59.60	58.10	1.50	0.64	0.01
	6 緑中央通り	54.52	55.65	53.70	1.95	0.64	0.01
	2 個人宅 緑町1	51.59	52.56	50.36	2.20	0.74	0.01
	1 個人宅 東町1	49.85	50.75	49.21	1.54	0.52	0.01
はげ下	11 かきの木公園	46.84	48.24	45.73	2.51	0.93	0.02
	4 はけの森緑地2	45.19	46.80	43.87	2.93	0.98	0.02
	5 前原やなぎ公園	43.53	45.04	41.83	3.21	0.93	0.02

測定点(地面の標高の高い順)		変動係数平均 4～10月	水位の変動係数 4～10月	変動係数平均 11～3月	水位の変動係数 11～3月	水位の標準偏差 (m) 4～10月	水位の標準偏差 (m) 11～3月
はげ上	10 個人宅 貫井北町5	0.0141	0.0194	0.0090	0.0152	1.2231	0.9432
	9 個人宅 貫井北町3		0.0155		0.0090	0.9342	0.5351
	7 特別支援学校		0.0109		0.0073	0.6441	0.4241
	6 緑中央通り		0.0118		0.0067	0.6446	0.3638
	2 個人宅 緑町1		0.0163		0.0093	0.8420	0.4791
	1 個人宅 東町1		0.0109		0.0066	0.5436	0.3285
はげ下	11 かきの木公園	0.0190	0.0200	0.0170	0.0210	0.9403	0.9770
	4 はけの森緑地2		0.0198		0.0139	0.9033	0.6178
	5 前原やなぎ公園		0.0174		0.0162	0.7642	0.6928
降水量変動係数		0.74	2.03				
平均降水量(mm)		146.14	44.80				

表中、■は最大値、■は最低値

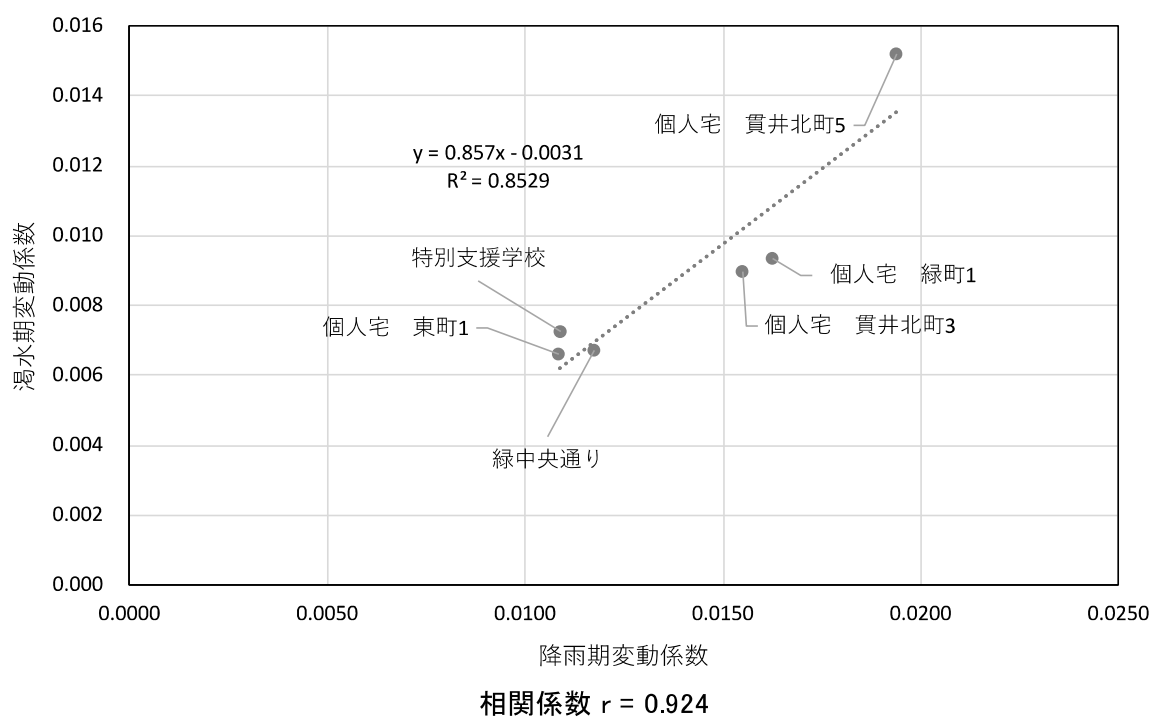


図 4-5 令和 5 年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はけ上）

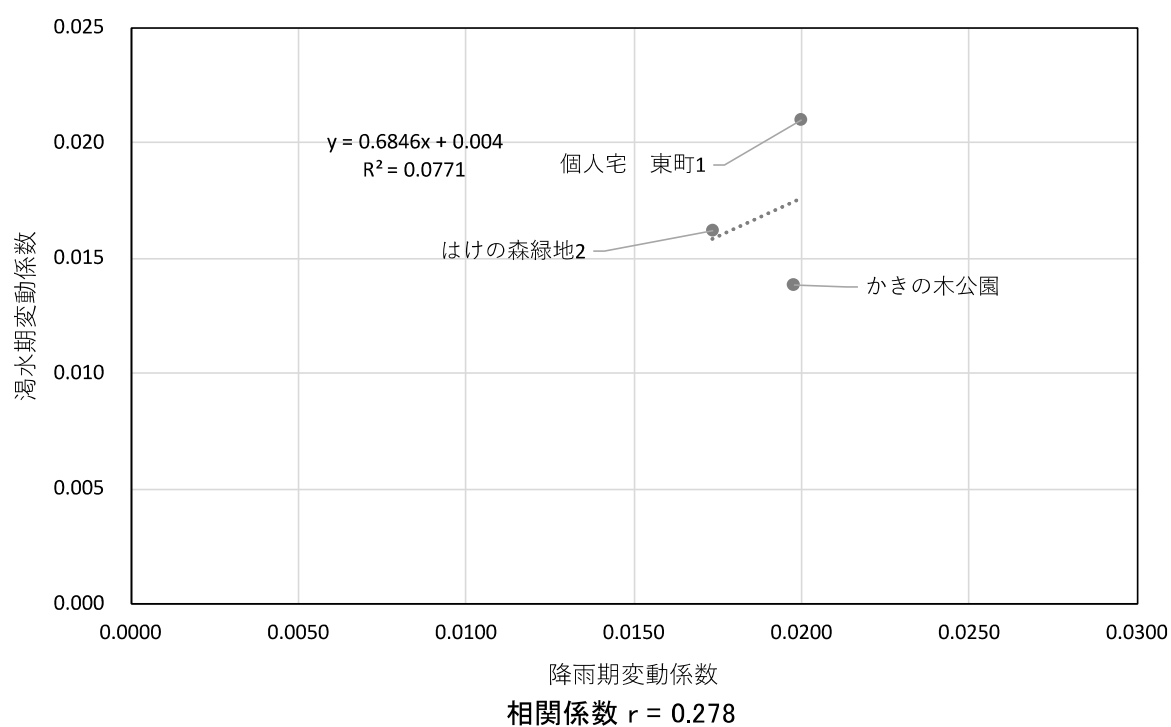


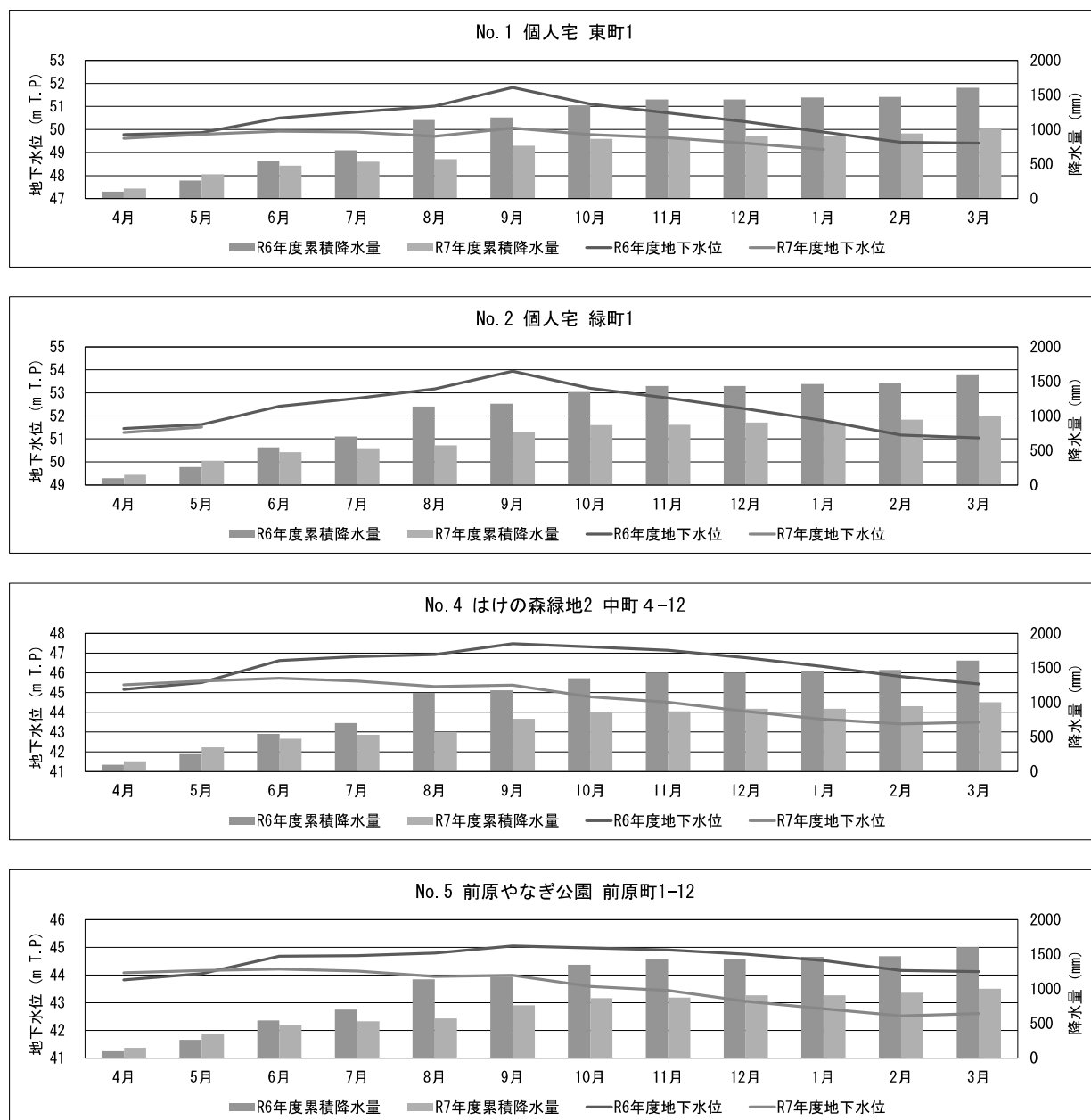
図 4-6 令和 5 年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はけ下）

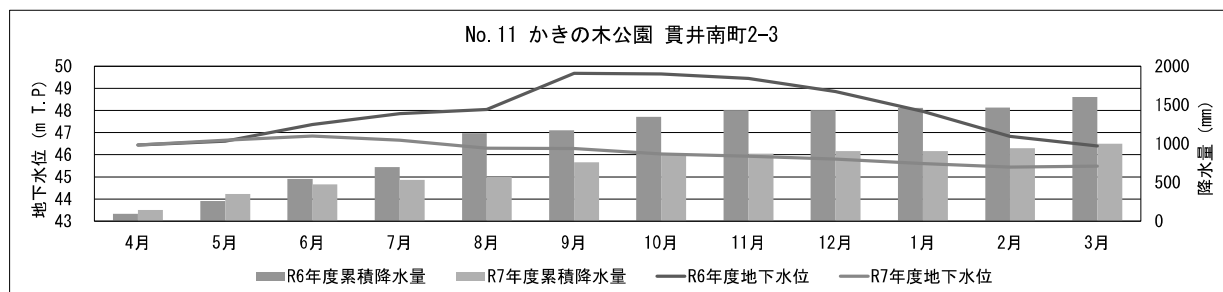
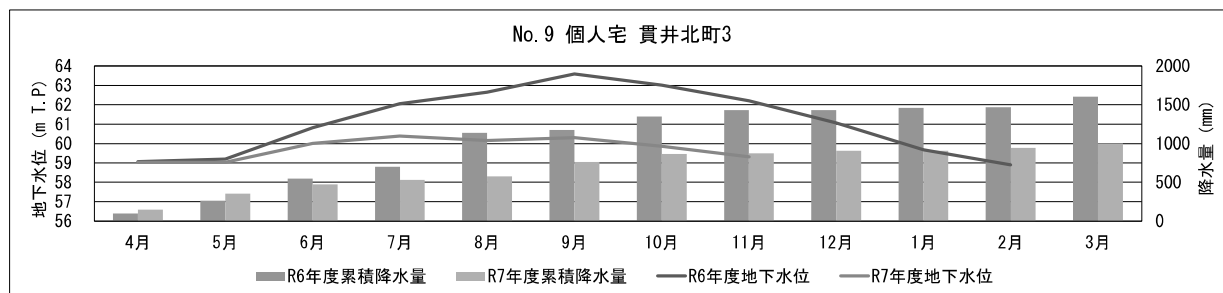
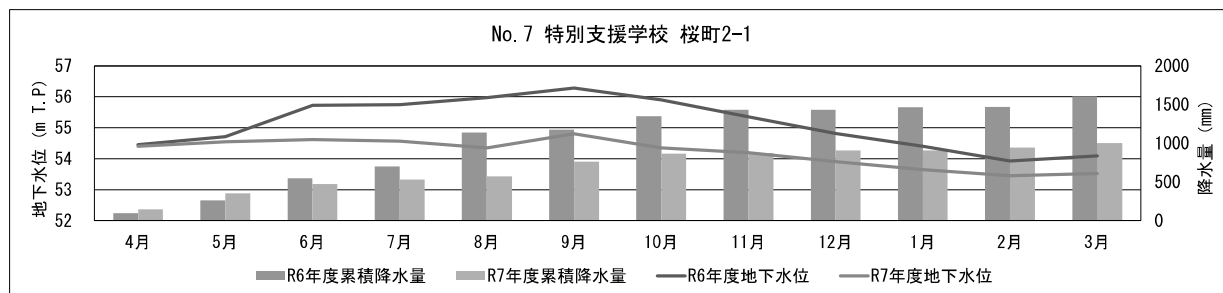
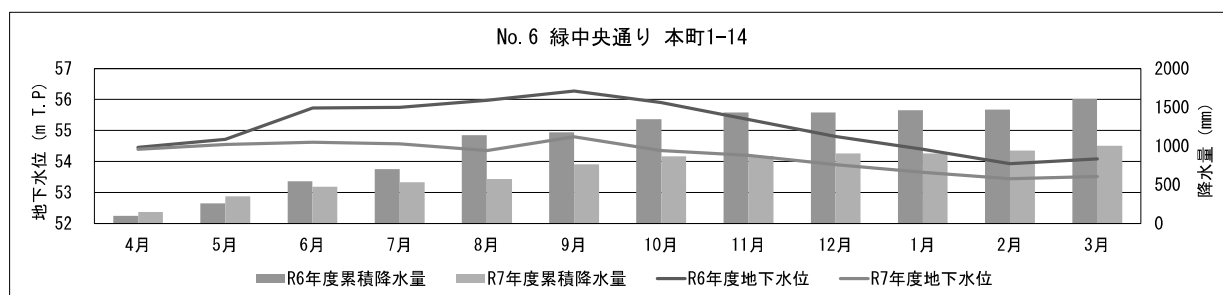
5. 渇水状況に関して

令和7年度は全国的に特異な渇水状況であり、地下水位調査においても顕著な影響が確認された。

令和6年度と令和7年度で累積降水量（府中観測所）及び地下水位を比較したところ、8月以降の累積降水量に大きな開きがあり、累積降水量の少ない令和7年度地下水位も低下していることが確認できた。

以降に、各調査地点別の比較図を示す。





資料 5

令和 8 年度 環境講座

対 象

市内在住・在学の小学生

申 込 み

7月1日（火曜）から申込みフォームへ



定 員

12人（先着順）



申込みフォーム

講 師 山中 勝 さん

（日本大学文理学部 地球科学科 教授）



内 容

小金井の地下水についての講座のほか、
水質測定、pH測定等の活動を行います。

7/30 木

（午前 10時から）

集 合 場 所

小金井市環境楽習館
（小金井市貫井南町3-2-16）

お問合せ先

小金井市環境政策課 環境係
（042-387-9817）

詳細は市HPへ！



市HP

毎年8月1日は「水の日」です。本講座は国土交通省「水の日関連行事」として実施します。

小金井の
地下水を学ぶ